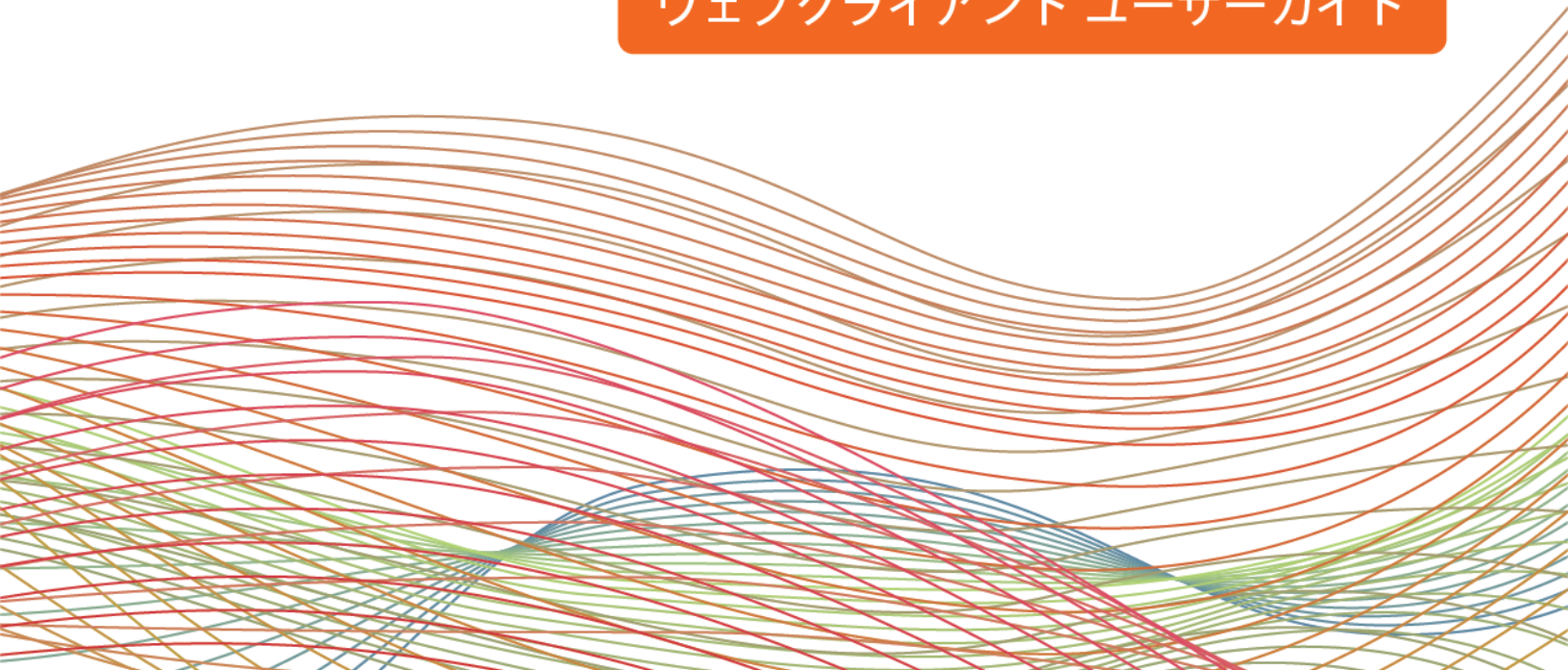




Extensis™
PORTFOLIO Server™

ウェブクライアント ユーザーガイド



コピーライト

©2006-2012 Celartem, Inc., doing business as Extensis. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensis の書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

Extensis は Extensis の商標です。Extensis のロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Sense、Font Vault、NetMediaMAX、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Suitcase Fusion、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type Core は Extensis の商標です。FontSync、NetPublish、Portfolio NetPublish、Type Server、Universal Type Server、WebINK は Extensis の登録商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartem のロゴは、Celartem, Inc. の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、InCopy、InDesign、Photoshop、PostScript、XMP は Adobe Systems, Incorporated の商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、Bonjour ロゴ、Mac OS、QuickTime、QuickTime ロゴ、Universal ロゴ、Xsan は、Apple Inc. の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、SQL Server、Windows、Windows Vista は Microsoft Corporation の登録商標です。Intel、Intel Core、Pentium、Xeon は Intel の登録商標です。Oracle、Java は Oracle と関連会社の登録商標です。Google は Google Inc の商標です。Apache Tika、Apache Tomcat、Tomcat は Apache Software Foundation の商標です。Quark、QuarkXPress、XTensions、QuarkXTensions は、Quark Inc. の商標です。IBM、DataMirror、PowerPC は International Business Machines Corporation の商標です。その他全ての商標は各社が所有しています。

オンデマンドイメージング、ビデオ変換と処理は MediaRich® プラットフォームで実行されています。MediaScript、MediaRich は Automated Media Processing Solutions, Inc., dba Equilibrium の商標または登録商標です。Copyright © 2004-2012. All Rights Reserved. 米国特許番号 6,792,575、6,964,009、他の特許は申請中です。

Extensis は、製品の購入日より 30 日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品を Extensis から直接購入し、30 日以内に障害が発生した場合、ディスクを Extensis に返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前に Extensis で登録する必要があります。販売店から購入した Extensis 製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



Portfolio Web Client 10.2.0

目次

コピーライト.....	2
Extensis Portfolio ウェブクライアント	5
このリリースの新機能.....	6
バージョン 10.0 の新機能.....	6
その他、最近追加された機能.....	7
はじめに.....	8
Portfolio のインストール	8
システム要件.....	8
Portfolio Server への接続	9
Portfolio ウェブクライアントのインターフェイス	10
メインウィンドウの表示オプション.....	12
フィールド選択.....	13
アイテムのプレビュー.....	15
ファイルのカタログ化.....	16
カタログへアイテムをアップロード.....	16
カタログからアイテムを削除.....	16
アクセスレベル.....	18
ファイルを検索.....	19
クイック検索.....	19
バッチ検索.....	19
検索ツールの使用.....	20
検索条件オプション.....	21
検索結果のクリア.....	23
ギャラリー.....	24
公開、非公開、および閲覧専用の設定.....	24
スマートギャラリー.....	24
特殊ギャラリー.....	24
ギャラリーアイコンの参照.....	24
ギャラリーの作成、リネーム、削除.....	25

ギャラリーへのアイテムのアップロード.....	25
ギャラリーからのアイテムの削除.....	26
ギャラリーの並べ替え.....	26
ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定.....	27
スマートギャラリーの作成.....	27
フラグアイテムギャラリー.....	28
アイテムのプロパティの表示.....	29
表示プロパティの選択.....	29
フィールドタイプの理解.....	30
アイテムのプロパティの編集.....	30
キーワードとカスタムフィールド.....	32
キーワード.....	32
カスタムフィールド.....	32
キーワードの追加.....	33
キーワードの削除.....	34
キーワードの置換.....	35
ファイルの管理.....	36
新しいサブフォルダの作成.....	36
ファイルの移動と削除.....	36
カスタムプレビューの適用および削除.....	37
自動化とウェブクライアント.....	37
オリジナルのダウンロードと編集.....	38
ファイルのダウンロード.....	38
変換プリセット.....	38
バッチ処理.....	41
PDF コンタクトシート.....	43
ジョブ.....	44
用語集.....	45
Extensis の連絡.....	47
索引.....	48

Extensis Portfolio ウェブクライアント

Portfolio Server は、ファイルを適切なフォーマットで収集することを効率的ですばやく実行することを可能にします。文書、写真、音声、動画ファイルをまとめて管理し、重要なファイルと関連する情報にアクセスできるようにします。

Portfolio Server は Server Admin Web アプリケーション、ブラウザベースでのアクセスを可能にするウェブクライアント、Mac および Windows システム用のデスクトップクライアントと Express アプリケーションを提供します。

- Server Admin アプリケーションは、サーバーの管理、カタログやユーザーアカウントの作成、ユーザーのアクセス権の変更を行うことができます。
- Portfolio ウェブクライアントとデスクトップクライアントは、カタログにアイテムを追加、メタデータの適用、アセットの検索、ダウンロードなどができます。Portfolio Express アプリケーションは、アプリケーション間をドラッグ&ドロップでアセットにアクセスすることを可能にします。

各アプリケーションには検索可能なオンラインヘルプが用意されています。ブラウザベースの Server Admin Web とウェブクライアントアプリケーションは、ブラウザ右上のヘルプ からアクセスできます。デスクトップアプリケーションの場合、ヘルプ メニューからアクセスします。

ヘルプ画面では、左側のパネルを利用して、内容や目次や、単語を検索することが可能です。多くのページは関連ページへのリンクが含まれています。

Portfolio ウェブクライアント

ウェブクライアントは、アセットの追加、メタデータの編集、検索、ファイルのダウンロードなど、広範囲に渡る強力な機能を提供します。

よく使われるウェブクライアントの一般的な機能は：

- **ファイルのアップロード**
- **アイテムのプロパティの編集**：キーワードやメタデータを追加します。
- **ギャラリーおよびスマートギャラリーを使用した管理**
- **ファイルおよびフォルダの管理**：ファイルおよびフォルダの追加、移動、名前の変更をします。
- **ファイルを検索**
- **ファイルのダウンロード**
- **バッチ処理（ファイルの変換）**
- **アイテムのプレビュー**
- **ギャラリー および PDF コンタクトシートを使用したアセットの共有**

このリリースの新機能

Portfolio ウェブクライアントはより素早く、強力で使い易くなりました。

ウェブクライアントは、Portfolio Server のカタログに、ウェブベースで接続することができます。これにより、ユーザーは特殊なアセット管理ソフトウェアをインストールしなくても、利用できるようになりました。Portfolio ウェブクライアントは、日々行う様々な編集処理を自動化や、一般的な Portfolio 機能にアクセスすることができます：

- すぐれた検索およびダウンロード機能
- オートシンクフォルダへのファイルのアップロード
- ディスク内のファイルの管理
- ファイルのバッチ変換
- メタデータの入力および埋め込み

Portfolio ウェブクライアント 10.2 には以下の新機能が含まれています：

- **フィールドの選択およびフィルタフィールド：**グリッド表示、リスト表示、プレビューモードのプロパティ表示、メインウィンドウのプロパティパネルなどで表示されるフィールドを選択し、表示する順序を変更できます。
- **ユーザーメニュー：**現在のユーザーの名前がメニューに表示され、このメニューからログアウトやデフォルト表示に復帰が可能です。
- **ダウンロードとバッチ処理：**これらの機能は、意味があって分けられています。変換プリセットは **ダウンロード** メニューに移動されました。 **バッチ処理** ボタンは、アセットを変換、ダウンロード、カタログに登録するためのプリセットやカスタム設定を使用することができます。
- **クリック可能な URL：**グリッド表示で表示される URL フィールドをクリックすると、ウェブサイトを開くことができます。
- **メニューの復帰、フォントの変更、作業メッセージの更新**など様々なユーザビリティの向上がされています。

バージョン 10.0 の新機能

- **動画および音声：**Portfolio Server はウェブクライアント上での動画と音声のサポートを強化しました。プレビュークリップの再生、スライドショーに音声と動画の追加、動画および音声ファイルをディスクにダウンロードすることができます。NetMediaMAX ユーザーは動画と音声ファイルを複数のフォーマットに変換できます。
- **バッチ検索：**複数のファイル名などのリストを使用して、アイテムを検索することができます。
- **PDF コンタクトシート：**ページに画像が 1, 2, 4, 9, 16 点配置された PDF コンタクトシートを作成できます。詳細については **PDF コンタクトシート** 43 ページのを参照してください。
- **表示状況の保存：**グリッドおよびリスト表示の設定は、カタログの変更や、ウェブクライアントを終了しても保存されます。各カタログの表示は、次回、別のコンピュータまたはブラウザからログインしても復元されます。
- **オートシンクの進化：**オートシンクの処理速度が上がり、ギャラリー、フォルダ、カタログのアイコンは現在のオートシンク状況を表します。オートシンクの状況の追加情報を見るには、ギャラリーリストのアイコンをダブルクリックします。また、手動でオートシンクフォルダの処理を開始することもできます。

ウェブクライアントのファイルフォーマットのサポートおよび自動化機能の機能拡張は、NetMediaMAX Solution Pack を利用することで可能です。このアドオンは、サーバー側でのメディア処理をシームレスに実行し、Portfolio Server の機能を拡張します。

Portfolio NetMediaMAX に含まれる機能:

- **出力拡張:** PSD, PDF, PNG, TGA などの追加ファイルフォーマットに変換。(最新のサポートされるフォーマットについては Extensis ウェブサイト (<http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/>) を参照してください。)
- **高速なメディア処理:** メディア処理をより素早く実行し、メタデータやカタログ化も行います。
- **音声-動画処理:** 複数の音声および動画フォーマットのカタログ化および変換ができます。
- **自動化:** 複雑な作業の自動化を実現し、高品質な出力を可能にします。

その他、最近追加された機能

Portfolio ウェブクライアント 9.5 では以下の機能拡張がされています:

- **フラグアイテム:** ギャラリーまたはアイテムを移動しなくても、アセットに印をつけることができます。
- **「最新登録アイテム」オーガナイザ:** 現在のユーザーが現在のセッションでカタログに追加されたアセットを表示します。
- **単独アイテムのダウンロード:** 単独アイテムは ZIP 圧縮および解凍しなくてもダウンロードできます。
- **単独アイテムのリネーム:** バッチのリネーム処理をしなくても、**プロパティパネル**で名前を変更できます。
- **キーボードショートカットおよびショートカットメニュー:** よく使う機能にショートカットおよび右クリックでのコンテキストメニューをサポートしました。
- **ログインの進化:** 単独カタログのユーザの場合、カタログが自動的に開き、初めのページが表示されます。
- **設定の記憶:** 最後に使用したユーザの情報 (ユーザ名、言語、ギャラリー表示、ページサイズ、表示パネル) はブラウザに記憶されます。毎回セッションを開始する度に、設定をする必要がなくなります。
- **プレビューモード:** プレビューモードでは、単独イメージをできるだけ大きなサイズで表示し、ズーム、パン、ダウンロードを1クリックで実現できます。
- **プレビューのストリーミング:** プレビューファイルが保管される場所へユーザがアクセスできない場合も、Portfolio Server はプレビューをストリーミングして、高品質のプレビューを表示できます。

はじめに

Portfolio ウェブクライアントは、デジタルファイルに関する情報を、扱いやすい視覚的なカタログに保存することによってファイルを整理するのに役立ちます。ファイルを探すのに深い階層のフォルダを探したり、必要な画像を見つけるために文書を次から次へと開いたりする代わりに、サムネールの大きさのプレビューをすばやく参照したり、Portfolio ウェブクライアントの強力な検索エンジンを使用して必要なアイテムの検索を実行したりできます。

カタログ: Portfolio でファイルの検索、プレビュー、およびトラッキングするには、カタログにファイルをアップロードする必要があります。

- **カタログへのアイテムのアップロード**

カスタマイズ: ギャラリーおよび表示オプションで設定した方法でカタログのアイテムを表示します。

- **メインウィンドウの表示オプション**
- **ギャラリーの作成、リネーム、削除**

アクセス: Portfolio Server のファイルをプレビュー、ダウンロード、および変換します

- **アイテムのプレビュー**
- **ファイルのダウンロード**
- **バッチ処理**

整理: Portfolio ウェブクライアントを使用して、キーワード、説明、その他のカスタムデータを追加することにより、ファイルをグループ化、整理、およびカテゴリ分けすることができます。

- **アイテムのプロパティの編集**
- **キーワードとカスタムフィールド**

検索: 検索するカタログファイル名の単語またはフレーズを入力すると、直ちにアクセスできます。入力した複数の検索条件は Portfolio に自動的に保存されます

- **ファイルを検索**
- **クイック検索**
- **バッチ検索**
- **検索ツールの使用**

Portfolioのインストール

Portfolio ウェブクライアントは、Adobe Flash 10 がインストールされている対応ウェブブラウザで接続をおこなうため、使用するために別途ソフトウェアをインストールする必要はありません。

Adobe の Flash Player のインストールについては、次のアドレスを参照してください。
<http://www.adobe.com/products/flashplayer/>

また、Portfolio の管理者は Portfolio Server 上のカタログに適切なアクセス権を設定する必要があります。カタログのメンバーに登録されると、そのカタログに Portfolio ウェブクライアントからアクセスできるようになります。

システム要件

最新 Portfolio Server の情報については、Extensis のウェブサイトを参照してください:

<http://www.extensis.com/support/product-support/portfolio-server-10/>

または、国内販売代理店のサイトをご覧ください:

<http://www.swtoo.com/product/extensis/>

Portfolio Serverへの接続

Portfolio Server に接続するには、Portfolio Server の管理者からアクセス情報を入手する必要があります。次のような情報です。

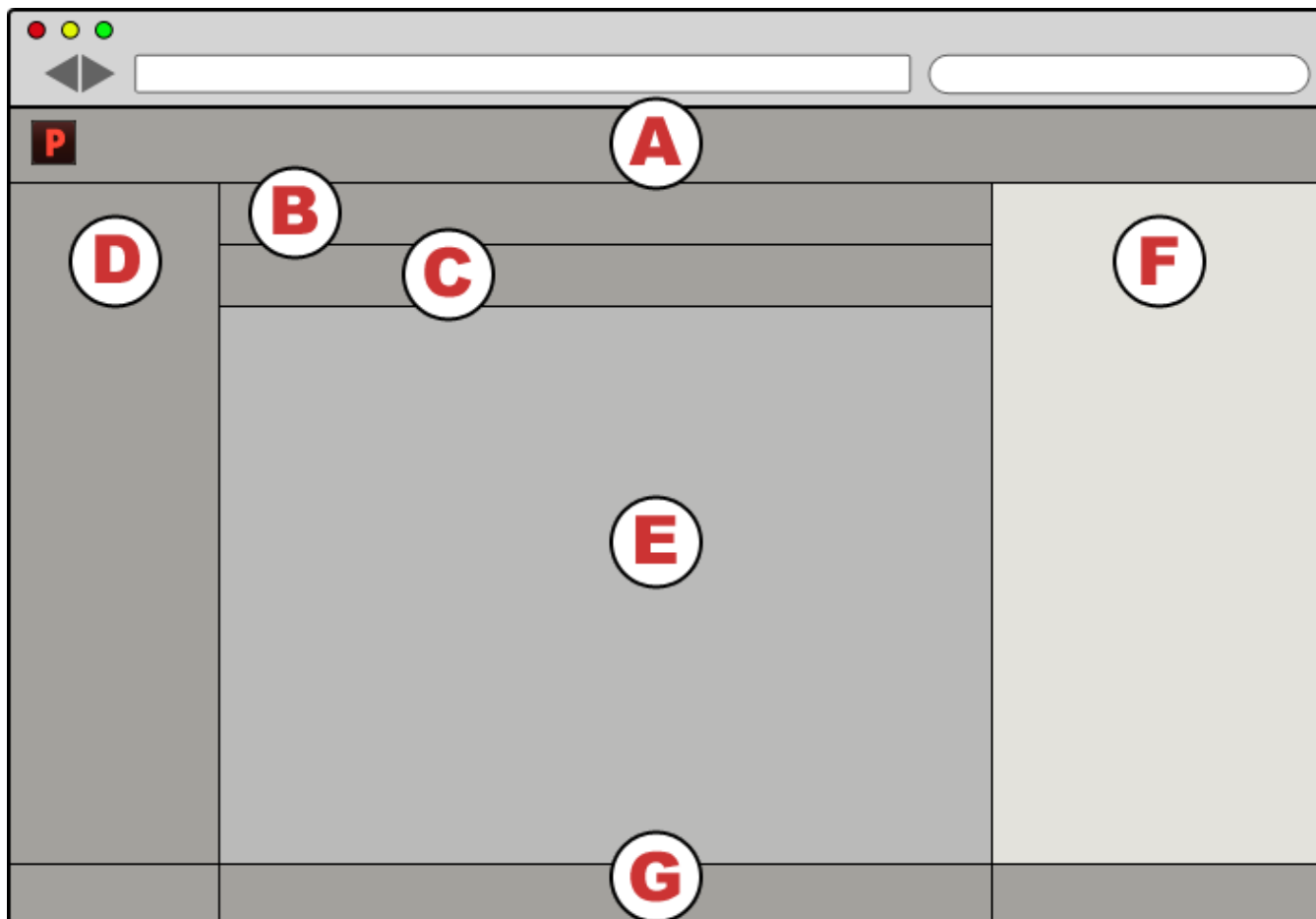
- Portfolio Server の IP アドレスまたはサーバー名
- Portfolio Server のポート番号
- ユーザー名
- パスワード

Portfolio Server に接続するには、次の手順を行います。

1. サポートされているウェブブラウザを開きます。
2. アドレスフィールドに IP アドレスとサーバー名を入力し、コロンの次にポート番号を入力します。Portfolio Server に接続するときのデフォルトポートは 8090 です。たとえば、次のように入力します。
`http://192.168.0.1:8090`
`http://localhost:8090`
`http://servername:8090`
3. ドロップダウンメニューから、使用する言語を選択します。
4. ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

注意:ログインするにはアカウント名とパスワードを入力する必要があります。これらはユーザーが接続する前に Portfolio Server の管理者から支給されているはずで

Portfolioウェブクライアントのインターフェイス



ウェブクライアントのユーザーインターフェイスは以下の主要なエリアからなります：


A ツールバー	メインツールバーは、主要なコマンドやメニューが表示されます。いくつかのコマンドを実行するには、特定のアクセスレベルおよび権限、あるいは NetMediaMAX が必要になる場合があります。
B 表示、ソート、検索オプション	これらのツールは、アイテムがどのように表示され、カタログで検索されるかを選択できます。
C アイテムプロキシとフィールド選択	アイテムプロキシ は、メインウィンドウのアイテムを特定のサブセット単位で扱うことができるツールです。 フィールド選択 は、 グリッド 表示、 リスト 表示、 プレビュー モード、および プロパティ パネルで表示される情報を設定できます。
D オーガナイザパネル	オーガナイザ パネルは、カタログ、フォルダ、ギャラリーを表示します。ここでグループ化することで、デジタルアセットを整頓することができます。
E メインウィンドウ	選択したオーガナイザのアイテムを、リストまたは、サムネイル画像のグリッド表示で表示します。
F プロパティパネル	プロパティ パネルは、メインウィンドウで選択したアイテムのメタデータやファイル情報を表示します。
G ナビゲーションツールバー	ナビゲーション ツールは、同時に表示するアイテム数や、ページの移動ができます。

A. メインツールバー

メインツールバーは Portfolio ウェブクライアントインターフェイスの上部に表示されます。このツールバーにはカタログでよく使用する、ファイルのアップロードやダウンロード、ファイル変換などの機能があります。

B. 表示, ソート, および検索

Portfolio ウェブクライアントのメインウィンドウは、アイテムを、グリッド、リスト、プレビューの3種類の

表示方法で表示できます:  ご使用の用途に応じて、使い分けてください。

グリッドおよびリスト表示では、各データフィールドを昇順および降順で表示できます。

クイック検索は、一般的なデータフィールドを検索で使用し、複数項目を検索をしたい場合は、詳細検索に切り替えます。

C. アイテムプロキシとフィールド選択

アイテムプロキシは、全ページの全アイテム、現在のページの全アイテム、または現在のページの選択アイテムなど、定義されたアイテムのプリセットをコピーおよび移動することを可能にします。複数のアイテムを選択したり、ページを変更しなくても、代わりにプロキシをドラッグすることで対応できます。

フィールド選択は、グリッド表示、リスト表示、プレビューモード、プロパティパネルで表示するデータフィールドを選択できます。

D. オーガナイザパネル

左側のオーガナイザパネルには使用可能なすべてのカタログが表示されます。

カタログの内容を参照したい場合、カタログ名の左の三角をクリックします。これにより、カタログに含まれるギャラリーおよびアイテムを表示します。アイテムはフォルダ内に表示します。

オーガナイザ パネルは、ツールバー左側にある2重の矢印アイコンをクリックすると、表示/非表示できます。



E. メインウィンドウ

メインウィンドウにはカタログのアイテムサムネールとデータが表示されます。オーガナイザ でカタログ、ギャラリー、またはフォルダを選択すると、メインウィンドウに選択したこれらに属するアイテムが表示されます。

上部のメインツールバーと下部のナビゲーションツールバーを使用すると、メインウィンドウにアイテムをどのように表示するかを調整できます。たとえば、次のものを制御できます。

- 1ページに表示されるアイテムの数
- ページのアイテムの並べ替え基準
- アイテムのグリッド表示やリスト表示を表示するかどうか
- グリッド表示内のサムネール画像のサイズ


メインウィンドウにはクイック検索とカタログのその他の検索の結果もすべて表示されます。

F. プロパティパネル

プロパティ には、システムファイルとメインウィンドウで選択したアイテムのメタデータ情報が表示されます。表示される多くのフィールドのほとんどは、このペインで直接編集できます。

1つのアイテムを選択すると、そのアイテムのすべてのカタログ情報がプロパティ パネルに表示されます。編集したメタデータはすべて、選択したアイテムだけに適用されます。編集したメタデータはすべて、選択したアイテムだけに適用されます。

複数のアイテムを選択すると、プロパティ パネルには選択したすべてのアイテムに共通のフィールドだけが表示されます。編集したメタデータは、選択したアイテムすべてに適用されます。

プロパティ は、ツールバーの右側の二重矢印アイコン  を使用して表示/非表示にできます。

G. ナビゲーションツールバー


ウィンドウ下にあるナビゲーションツールバーは、メインウィンドウ上に表示されるアイテムの数、表示サムネールのサイズ、ギャラリーに追加や削除などの変更ができます。

ショートカットメニュー

メインウィンドウあるいはオーガナイザ パネルでアイテムを選択した場合、よく使う機能にショートカットでアクセスできます。選択アイテムを右クリックすると、実行可能な機能のリストが表示されます。

メインウィンドウの表示オプション

グリッド表示

グリッド表示では各アイテムのサムネールが表示されます。サムネールは 112x112 ピクセル、256x256 ピクセルを使用します。サイズを変更するにはナビゲーション バーのアイコン  をクリックします。

各サムネールと表示される情報を変更するには、メインウィンドウ右上の **フィールドを表示** をクリックしてください。

リスト表示

リスト表示では、スクロール可能なファイルのリストでサムネール、フラグステータス、ファイルパス、名前、変更日を含んでいます。

各アイテムと表示される情報を変更するには、メインウィンドウ右上の **フィールドを表示** をクリックしてください。

プレビューモード

プレビューモードは、グリッドまたはリスト表示で選択したアイテムを拡大してプレビュー表示します。また、ズームイン、ズームアウト、ファイルのダウンロード、ファイルのメタデータ表示、選択対象の他のファイルをプレビュー、選択対象のスライドショーなどができます。

プレビューモードで表示するには、**プレビューモードアイコン** をクリックまたは、**グリッド/リスト表示** でアイテムをダブルクリックします。

グリッド/リスト表示でアイテムをクリックします。次に Shift キーを押しながら、別のアイテムをクリックし選択範囲を決定します。Command キー (Mac) または Control キー (Win) を押しながらクリックすると、アイテムを個別に選択できます。もし、複数のアイテムを選択した場合、いずれかをダブルクリックすると、プレビューモードになり、ウィンドウの下に選択アイテムのプレビューが表示されます。

フィールドを表示

グリッド表示、リスト表示、プレビュー モードで表示されるプロパティ、およびプロパティ パネルで表示されるアイテムのプロパティを選択できます。各表示モードあるいはパネルでは、異なるフィールドを表示することができます。

フィールド選択画面を開くには、メインウィンドウの上にある **フィールドを表示** ボタンをクリックします。

フィールド選択の詳細情報については、**フィールド選択** をご覧ください。

更新




現在の表示を（新しいアイテムを追加または削除後に）更新するには、メインウィンドウの上にある **更新** ボタンを押します。

アイテムの選択

グリッドおよびリスト 表示の場合、アイテムをクリックして選択します。グリッド/リスト表示でアイテムをクリックします。次に Shift キーを押しながら、別のアイテムをクリックし選択範囲を決定します。Command キー (Mac) または Control キー (Win) を押しながらクリックすると、アイテムを個別に選択できます。

アイテムプロキシの使用

アイテムプロキシを利用すると、メインウィンドウのアイテムのサブセットをフォルダやギャラリーにコピーできます。

- **検出アイテムプロキシ**  をドラッグするとメインウィンドウの全ページのアイテムをコピーします。
- **表示アイテムプロキシ**  をドラッグするとメインウィンドウの現在のページのアイテムをコピーします。
- **選択アイテムプロキシ**  をドラッグすると現在のページの選択アイテムをコピーします。

プロキシをドラッグすると、青い枠が表示されます。赤い X が表示される場合、そこにコピーはできないという意味です。

プロキシのグラフィックに表示される数字は、アイテム数を表しています。

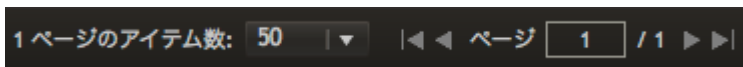
プレビュー

プレビューは必要に応じて自動的に生成されます。各カタログごとのプレビューの画像サイズの最大値は、Portfolio Server Admin Web インターフェイス内の「カタログ」で設定できます。

ファイルの種類によっては、サムネイルやプレビュー画像をサポートしていません。この場合、代わりにファイルのアイコンが表示されます。

ナビゲーションボタン

メインウィンドウの下部にあるナビゲーションボタンによって、メインウィンドウのページに表示されるアイテムの数と次ページへの移動を制御できます。



ドロップダウンメニューでメインウィンドウの各ページに表示されるアイテムの数 1 ページあたりを 20、50、または 100 個の間で変更できます。

次のページング制御によってメインウィンドウの複数のページを行き来することができます。次のページ移動ボタンを押すと、メインウィンドウのページを移動できます。**最初のページ**、**1 ページ戻る**、**1 ページ進む**、**最後のページ**または、特定のページを入力することで、ページ移動できます。


フィールド選択

カタログに含まれる、どのフィールドを **グリッド表示**、**リスト表示**、**プレビュー** モードで表示される**プロパティ**、そして **プロパティ** パネルにおいてアイテムと表示するかを選択できます。

グリッド表示とリスト表示:

クイック検索 ツール下の **フィールドを表示** をクリックして **フィールドセレクト** を開きます。

プレビューモード:

 アイコンをクリックして **プロパティ** を表示し、**フィールドを表示** を押して **フィールドセレクト** を開きます。

プロパティパネル:

プロパティ パネルのドロップダウンメニューからフィルタフィールドを編集を選択します。

注意: フィルタフィールドのリストは **並べ替え基準** メニューのデフォルトのフィールドリストとしても使用されます。

フィールドの選択

フィールド選択は、左側にすべてのフィールドを、右側に現在のフィールドを表示します。

- 現在の表示にフィールドを追加するには、左側のリストから右側のリストに移動します。
- フィールドの表示される順番を変更するには、右側のリストでフィールドを上下に移動します。
- 現在の表示からフィールドを削除するには、右側のリストの外にドラックします。
- 左側リストに表示される対象を制限するには、ダイアログの上にある**検索** ボックスにフィールド名の一部を入力します。

OK ボタンをクリックして変更を保存します。

異なる表示の設定オプション


フィールド選択 の右上には表示フィールドのドロップダウンメニューが表示されます。

このメニューから異なる表示を選択し、その表示画面で使用するフィールドを選択できます。

ダイアログで**保存** を押すと、表示されるフィールドが保存されます。

アイテムのプレビュー

Portfolio ウェブクライアントはメインウィンドウにフルサイズのプレビューをグリッドまたはリスト表示から表示できます。プレビューモードで表示するには次の操作を行います：

- アイテムをダブルクリックします。
- 複数アイテムを選択し、ダブルクリックします。
- アイテムを選択し、**プレビューモードアイコン**をクリックします。 

フォルダまたはギャラリー内のすべてのアイテムをプレビューするには、オーガナイザで選択し、**プレビューモードアイコン**をクリックします。

プレビューモードの操作

プレビューモードに入ると、メインウィンドウには大きなプレビューが表示されます。マウスを移動すると、プレビューコントロールが表示されます。これらはマウスの移動を停止すると隠れます。これらの機能はショートカットからアクセスすることもできます。



A 閉じる	プレビューモードを終了し、前の表示に戻ります。 ショートカット: Esc
B ファイル名	ファイルの名称です。
C フラグ	フラグをつけた画像は フラグアイテム のギャラリーに追加されます。 ショートカット: B
D ダウンロード	オリジナルファイルをダウンロードします。
E プロパティの表示/隠す	プロパティ の表示や隠すことができます。
F 拡大縮小	プレビューの拡大縮小。拡大した場合、ドラッグしてパンをすることができます。 ショートカット: + (拡大)、- (縮小)、0 (全体表示)
G プレビュー	画像または動画メディアのプレビューができます。
H プロパティ	プロパティ を表示します。 フィールドを表示 ボタンを押して、表示するフィールドを選択します。
I フィルムストリップ	プレビュー モードで利用できるサムネイル画像を表示します。画像をクリックプレビューします。(フィルムストリップは、アイテムが複数選択された状態で、 プレビュー モードになった場合に表示されます。)
J ナビゲータ	サムネイル間の移動またはスライドショーを開始/停止します。 ショートカット: Home (最初の画像へ)、左矢印 (前へ)、スペース (スライドショーの再生/停止)、右矢印 (後へ)、End (最後の画像へ)

ファイルのカタログ化

カタログにアイテムを追加する方法はいくつかあります。

- Portfolio ウェブクライアントでは、アイテムはクライアントのブラウザから直接ファイルサーバー上のフォルダにアップロードされます。このフォルダは、カタログ管理者が Portfolio デスクトップクライアントを使用してオートシンクフォルダとして追加している必要があります。
- ファイルはネットワーク上のコンピュータの監視フォルダに追加できます。監視フォルダは Portfolio デスクトップクライアントで追加できます。(Portfolio Server は、監視フォルダにアクセス可能である必要があります)
- Portfolio デスクトップクライアントを使用してファイルをカタログ化できます。


カタログへアイテムをアップロード

ウェブクライアントを使って Portfolio Server にファイルをアップロードするには権限が必要です。ウェブクライアントでアイテムをアップロードすると、ファイルは選択したフォルダにアップロードされ Portfolio Server によってカタログ化されます。

Portfolio ウェブクライアントでアイテムをアップロードするには、次の手順で行います：

1. ウェブブラウザを起動し、ウェブクライアントを使用して Portfolio Server に接続します。
詳細については *Portfolio Server への接続* 9 ページの をご覧ください。
2. **オーガナイザ** パネルでファイルをアップロードするカタログを選択します。
3. カatalog名の左の三角をクリックするとカタログ内のフォルダが表示されます。
4. ファイルをアップロードするフォルダを選択します。
5. ツールバーで **アップロード** をクリックします。
6. アップロードするファイルを選択します。
7. **選択** (Mac) または **開く** (Windows) ボタンを使用して、ファイルをアップロードします。
ファイルのアップロード状態はメインウィンドウの下部にある **ナビゲーション** ツールバーに表示されま
す。ファイルのアップロード状態についての詳細については *ジョブを表示* 44 ページの をご覧ください。

注意


オーディオ、ビデオファイルをアップロードすると、Portfolio Server はプレビュークリップを作成します。プレビューが表示されるまで少し時間がかかる場合があります。クリップの再生準備が完了すると、ファイルアイコンに小さいビデオカメラのアイコン  が表示されます。ファイルをダブルクリックすると、**プレビュー** モードに切り替わり、クリップのプレビューが再生されます。

カタログからアイテムを削除

カタログ内のアイテムを削除する方法は3つあります。これらの方法の違いを知っておくことが重要です。たとえば、次のような場合です。

- ディスクからのオリジナルファイルの削除
- カタログからのアイテムの削除
- ギャラリーからのアイテムの削除

これらのオプションの主な違いは、カタログ、ギャラリー、フォルダという、アイテム選択のソースの違いです。

 メインウィンドウの左下に**削除**ボタンがあり、メインウィンドウでアイテムが選択されたときだけ表示されます。


ショートカットを使用した削除

削除 ボタンを使用する以外にも、選択アイテム、ギャラリー、カタログ、フォルダを右クリックして、**選択対象を削除**（アイテム）または **内容を削除**（カタログ、ギャラリー、フォルダ）を選択して削除できます。 **内容を削除** は、内容のみを削除し、カタログ、ギャラリー、フォルダは維持します。

ディスクからのオリジナルファイルの削除

ディスクからオリジナルファイルを削除すると、ファイルを削除するだけでなくそのファイルへのすべてのカタログ参照も削除されます。このオプションを使用する場合、ファイルを間違っても削除しないよう注意が必要です

ディスクからオリジナルファイルを削除するには：

1. **オーガナイザ** パネルでカタログを選択します。
2. ファイルまたはファイルが含まれるフォルダを選択します。
3. メインウィンドウで、ディスクからオリジナルを削除したいファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の **削除** ボタン  をクリックします。
5. **ディスクから削除** をクリックします。


カタログからのアイテムの削除

カタログからアイテムを削除してもファイルはカタログからだけ削除され、オリジナルファイルには影響しません。

注意

カタログからアイテムを削除しても、そのファイルがオートシンクフォルダ内にある場合、Portfolio Server に再登録されてしまいます。これを避けるには、監視フォルダの外にファイルを移動してから、ファイルをカタログから削除されます。


カタログからアイテムを削除するには：

1. **オーガナイザ** パネルでカタログを選択します。
2. ファイルが含まれるフォルダまたはギャラリーを選択します。
3. メインウィンドウでカタログから削除するファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の **削除** ボタン  をクリックします。
5. **カタログから削除** をクリックします。

ギャラリーからのアイテムの削除

ギャラリーからアイテムを削除してもカタログからそのアイテムは削除されません。オリジナルのファイルには影響はありません。

ギャラリーからアイテムを削除するには：

1. **オーガナイザ** パネルでカタログを選択します。
2. ファイルが含まれるギャラリーまたはファイルを選択します。
3. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の **削除** ボタン  をクリックします。
5. **ギャラリーから削除** をクリックします。

アクセスレベル

Portfolio Server の管理者がカタログごとに設定できる組み込みのアクセスレベルは以下の4つです。アクセスレベルによってユーザーが対象のカタログで利用できる機能が決まります。

たとえば、ユーザーがあるカタログに発行者アクセスレベルの権限があり、他のカタログには閲覧者アクセスレベルの権限があるということがあります。

各ユーザーのアクセスレベルについては管理者に確認してください。

注意: ユーザーがあるカタログのメンバである場合、そのユーザーはウェブクライアントまたはデスクトップクライアントを使用してそのカタログにアクセスできます。

カタログ管理者: これは最上位レベルのユーザーアクセス権であり、このレベルでは利用可能なすべての機能にアクセスできます。カタログ管理者は、Portfolio デスクトップクライアントと同じように、カスタムフィールドの編集、メタデータマッピング、オートシンのフォルダ設定などの高度な機能にアクセスできます。


カタログ管理者のアクセスレベルは Portfolio Server Admin の権限とは異なります。

発行者: 発行者の権限がある場合、カタログにアイテムをアップロードしたり、そこから削除したり、また、カタログ内のすべてのメタデータを更新したりできます。発行者はまたギャラリーを作成できます。

編集者: 編集者アクセスレベルのユーザーは、キーワードやカスタムフィールド値を入力するなどのメタデータの編集作業を行うことができます。編集者は、ファイルに組み込むためにマッピングされているフィールドにメタデータを入力することはできません。

閲覧者: 閲覧者レベルのアクセス権がある場合、カタログのアイテムを閲覧のみできます。カタログのアイテムにメタデータを追加、削除、編集することはできません。

Portfolio Server Admin はユーザーに Portfolio ウェブクライアントの他の機能へのアクセス権を与えることができます。この権限には次のものがあります。

- **オリジナルへのアクセスおよび処理:** オリジナルファイルのダウンロードが可能になります。この権限と**変換プリセットの使用**が利用できれば、**バッチ処理** 機能を使用することもできます。
- **メタデータの埋め込み:** ファイルに埋め込みできるメタデータの編集を可能にします。埋め込みメタデータは  アイコンで表されます。
- **PDF 作成:** この機能を有効にすると、PDF のコンタクトシートを作成できます。
- **変換プリセットを管理:** この機能を有効にすると**バッチ処理**ダイアログにて、**変換プリセットの編集**およびカスタム設定をプリセットとして保存することができます。
- **パブリックギャラリーの管理:** この機能を有効にすると、パブリックギャラリーの作成、変換、削除ができます。
- **Media Script の実行:** この機能が有効化されたサーバーでスクリプトを実行することを許可します。この機能を利用するには NetMediaMAX モジュールが必要です。
- **変換プリセットの使用:** 他のユーザーが作成したカスタム変換プリセットを利用できるようにします。この権限と**オリジナルへのアクセスおよび処理**が利用できれば、**バッチ処理** 機能を使用できます。

ファイルを検索

Portfolio ウェブクライアントでファイルを検索する方法はいくつかあります。

クイック検索 を使用して、ファイルのカタログをすばやく検索できます。

通常の**検索** 機能は、カスタマイズすることにより Portfolio Server で管理されているデータタイプを使用して最大5項目を検索することができます。検索条件を調整し、更新結果を表示することもできます。

バッチ検索 ひとつのフィールド内に値を複数入れて検索ができます。ファイル名や品番などユニーク番号を持った複数アイテムを検索することができます。

クイック検索


Portfolio ウェブクライアントで最も簡単に使用できる検索ツールはクイック検索です。クイック検索はメインウィンドウの上部のツールバーにあり、デフォルトでは3つのフィールド「ファイル名」、「説明」、「キーワード」を検索します。



クイック検索では**オーガナイザ** パネルで選択したものだけを検索します。カタログを選択するとそのカタログ全体が検索されますが、ギャラリーを選択するとそのギャラリー内のアイテムだけが検索されます。

クイック検索を行うには:

1. **オーガナイザ** パネルでカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. 単語またはフレーズを **クイック検索** フィールドに入力して、**ENTER** キーを押します。
3. メインウィンドウに一致したアイテムが表示されます。

メインウィンドウのクイック検索の結果をクリアするには、**クイック検索** フィールドの右にある**結果をクリア** ボタン  をクリックします。

バッチ検索

バッチ検索は、複数值を利用して適合するフィールドを持つ Portfolio アセットを検出します。

例:

部品の一覧表があり、Portfolio カタログのカスタムフィールドには部品型番が入力されています。部品番号をまとめて検索することで、部品型番と一致する Portfolio カタログ内のすべてのアイテムを素早く検索できます。

バッチ検索はテキストおよび数字フィールドで利用できます。(キーワードなど、複数の値を保持するフィールドも含まれます)

バッチ検索の使い方

バッチ検索を実行するには:

1. **クイック検索** の左の三角をクリックすると詳細検索ウィンドウが表示されます。
2. **バッチ検索** タブをクリックします。
3. 検索したいフィールドをドロップダウンメニューから選択します。
4. ドロップダウンメニュー横にあるフィールドに検索条件を一行ずつ入力します。
TIP: フィールドに複数行のテキストをペーストすることもできます。
5. **検索** ボタンをクリックします。

ウェブクライアントは該当するアイテムを表示します。もし検出されない場合、エラーとしてレポートされます。

単独項目が複数の Portfolio レコードと適合する場合があります。例えば上記例の場合、Portfolio は同じ部品の異なる写真が登録されていることがあり、番号に関連したすべての写真が表示されます。

検索後の処理

検索した後はどうればよいでしょうか。検索結果をグループ化したい場合、既存のギャラリーまたは新しいギャラリーに追加します。(フラグアイテムギャラリーに追加することもできます)

検索結果をギャラリーに追加することで、間違っ結果を削除してしまうことを回避でき、またカタログ内の別のアイテムを検索することができます。

ギャラリー作成の詳細については [新しいギャラリーの作成](#) をご覧ください。

フラグアイテムギャラリーの詳細については [フラグアイテムギャラリー](#) をご覧ください。

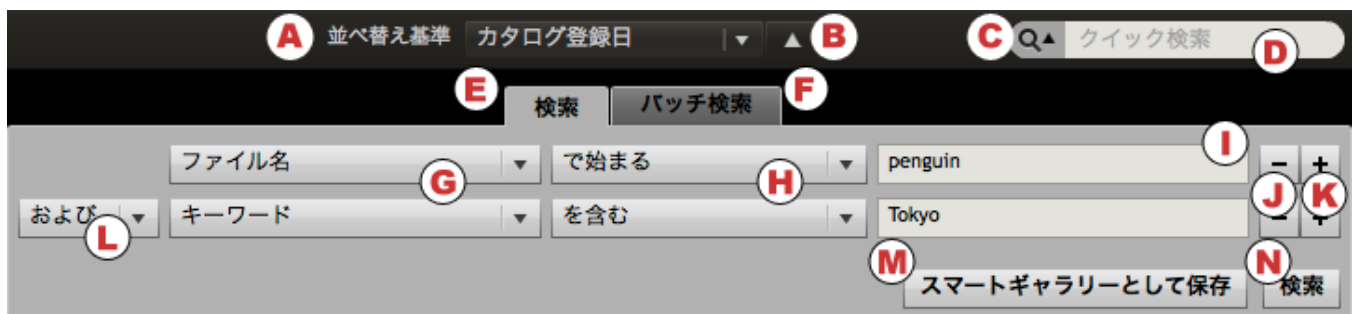
検出アイテムをギャラリーに追加するには、検出アイテムプロキシのアイコンを任意のギャラリーにドラッグします。

アイテムプロキシの詳細については [アイテムプロキシの使用](#) をご覧ください。

またバッチ処理コマンド処理を使用して、アイテムのメタデータの編集などカタログアイテムに行う様々な作業を実行できます。

検索ツールの使用

検索を使用して、カタログの任意のフィールドのデータを対象にファイルを検索することができます。この検索ツールはクイック検索ツールよりはるかに柔軟であり、高い精度で検索できます。クイック検索ではファイルの3つの定数のパラメータについて検索を行いましたが、検索ツールでは5つまでのパラメータについて検索できます。




A	並び替えフィールド	メインウィンドウの並び替えを選択します。	H	検索項目	値を検索する方法。
B	並び順	クリックして並び順を上下逆にします。	I	検索項目	検索フィールドとマッチする値を入力します。
C	表示/隠す	検索のオプションを表示または非表示します。	J	条件の削除	検索条件を削除します。
D	クイック検索フィールド		K	条件の追加	検索条件を追加します。
E	検索タブ	検索オプションの表示します。	L	ブール値	どのように検索するかを設定。and は両方マッチする必要がある、or はいずれかの項目がマッチする必要があります。
F	バッチ検索タブ	バッチ検索オプションの表示します。	M	スマートギャラリーとして保存	指定された条件でスマートギャラリーを作成します。
G	検索フィールド	検索するフィールドを選択します。	N	検索ボタン	指定された条件で検索します。

検索ツールの結果はスマートギャラリーの検索条件にすぐに変換できます。スマートギャラリーについては **ギャラリー 24** ページのを参照してください。

検索 ツールでは **オーガナイザ** ペインで選択したアイテムだけが検索されます。

検索ツールを使ってアイテムを検索するには：

1. **オーガナイザ** パネルでカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。

2. **クイック検索** フィールドの左隅にある **検索**  をクリックします。

3. ドロップダウンメニューから、検索するフィールドを選択します。

4. 2つ目のドロップダウンメニューから、検索に使用する演算子を選択します。

5. テキストボックスに検索する語を入力します。

選択したフィールドタイプと検索演算子によっては検索する語が必要ないこともあります。たとえば、存在する **検索演算子**を使用して検索する場合、選択したフィールドに在るデータを含むファイルだけを対象とするので検索語は必要ありません。

6. さらに的を絞った検索パラメータが必要な場合、最初のパラメータの右の追加ボタン **[+]** をクリックして追加のパラメータを開きます。上記の手順を繰り返して、最大5つの検索パラメータを追加できます。

7. 検索の準備が整ったとき、**検索** ボタンをクリックするか、**ENTER/RETURN** キーを押します。

これらのパラメータを頻繁に使用してカタログを検索する場合、「**スマートギャラリーとして保存**」を使用して検索条件をスマートギャラリーとして保存します。スマートギャラリーを開くたびに、自動的にこれらの検索パラメータを使用してファイルのカタログが検索されます。

検索条件オプション

次の表は、一般的なカタログに含まれている検索可能なフィールドの一覧です。もし、カスタムフィールドが追加した場合、そのフィールドを検索することも可能です。

アイテムがカタログ化された場合、ファイルに関連づけられた情報が抽出されます。Adobe アプリケーションで作成されたファイルの多くは、ファイルの作成条件について様々な情報が **XMP** メタデータとして含まれています。Portfolioは情報を抽出し、フィールドに入力します。

標準フィールド

これらのフィールドは多くの文書で一般的に利用されている情報が含まれています。

フィールド名	説明
ファイル名	カタログ化されたファイルの名前です。
ファイルサイズ	ファイルのサイズです。
作成日	オリジナルファイルの作成日です。日付と時間フィールドについては以下に記載される注意点をご覧ください。
変更日	カタログ化される前にオリジナルファイルが変更された日付です。日付と時間フィールドについては以下に記載される注意点をご覧ください。
説明	ファイルの説明文です。
キーワード	アイテムに適用されたキーワードです。

日付と時間フィールドについての注意点

日付と時間フィールドは、常に日付と時間が含まれます。もし、検索する日付は分かっても、時間が分からない場合、2つの条件で日付の範囲を指定できます。例えば、2012年2月14日に撮影した写真を見つけるには、検索条件に、“02/14/2012 12:00 am”の以降で、“02/15/2012 12:00 am”の以前に作成されたファイルを条件として指定して検索できます。

ファイル情報フィールド

これらのフィールドは、ファイルの位置や寸法の情報が含まれています。

フィールド名	説明
ディレクトリパス	ファイル名は含まない、アイテムへのディレクトリパスです。
ボリューム	アイテムが配置される実際のドライブまたはディスクです。
高さ	ピクセル単位で表されたアイテムの高さです。(サムネールが抽出された場合は空欄)
幅	ピクセル単位で表されたアイテムの幅です。(サムネールが抽出された場合は空欄)
水平解像度	アイテムの水平解像度 (dpi) です。
垂直解像度	アイテムの垂直解像度 (dpi) です。
ビット深度	画像ファイルで色情報を保持するために使用されるビット数です。
カラーモード	カラーモードは画像カラーの保管方法です。Portfolioは画像から直接カラーモード情報を抽出します。Portfolioが対応するカラーモードは次の種類があります: 白黒, グレースケール, RGB, CMYK, YUV, Lab, および YCCK。それ以外のカラーモードは「不明」と記載されます。
カラープロファイル	画像ファイルが作成されたデバイスまたはアプリケーションで埋め込まれたカラースペースのモデルです。例: sRGB, Adobe RGB (1998), またはキャリブレートされたモニタのプロファイル
ページ数	ドキュメントのページ数です。

カタログ情報フィールド

これらのフィールドは、アセットのカタログ化に関連した情報が含まれています。この情報をユーザーが変更することはできません。

フィールド名	説明
カタログ登録日	Portfolio がアイテムを最初に登録した日付と時間です。
カタログ登録者	Portfolio にアイテムをカタログ化した方の名前です。
設定日	アイテムを最近変更した日付および時間です。
設定者	最近アイテムを変更した方のユーザー名です。
アイテム ID	カタログアイテムの固有の ID 番号です。
サムネールのサイズ	Portfolio カatalog内のアイテムのサムネールサイズです。サイズは 32 , 112, または 256 ピクセルのいずれかです。

ワークフローフィールド

これらのフィールドには、Portfolio でのワークフローを管理するための情報が含まれています。これらの情報はカスタムフィールドに追加することができる情報の例です。

フィールド名	説明
承認済み	アセットが承認された日付や時間です。上記の日付と時間についての注意点をご覧ください。
承認者	アセットを承認した方のユーザー名です。
クライアント名	アセットと関連のあるクライアントの名前です。
ジョブ名	アセットと関連のある作業またはプロジェクトの名前です。
ジョブの状況	ジョブの全体的な状況です。
ルーティング先	アセットを作業または確認する担当者のユーザー名です。
転送のメモ	アセットを送信する先への追加情報です。
ウェブサイト	ワークフローに関連したウェブサイトです。
作業が必要	アセットに対して行う必要がある作業の説明です。

その他フィールド


上記の検索フィールド以外にも、Portfolio は様々なメタデータをファイルから抽出します。IPTC および EXIF メタデータ（通常デジタル写真や他の画像ファイルに含まれています）、デジタル写真や動画の GPS 位置フィールド、ビデオやアニメーションのファイルに含まれる動画固有のメタデータ、Microsoft Office やその他互換製品で組み込まれる MS Office メタデータなどが含まれています。これらのフィールドの多くは検索可能です。フィールドの名前は EXIF, IPTC, ムービー, MS Office です。

検索結果のクリア


クイック検索を使用する場合も検索機能を使用する場合も、結果をクリアする方法は複数あります。

デフォルトでは、検索結果をクリアするとオーガナイザで現在選択されているカタログ、ギャラリー、またはフォルダの利用可能なアイテムの最初のページが表示されます。

メインウィンドウからクイック検索の結果をクリアするには：

- オーガナイザ で別の項目を選択します。
- クイック検索 フィールドの右にある**結果をクリア**  をクリックします。

メインウィンドウから詳細検索の結果をクリアするには：

- オーガナイザ パネルで別の項目を選択します。
- クイック検索 フィールドの左側にある **検索ツールを隠すツール**  をクリックします。

ギャラリー

ギャラリーには、カタログ内のすべてのアイテム、またはそのサブセットを表示できます。

ギャラリーは、カタログ内の特定のファイルのみを整理および表示するのに適した方法です。たとえば、写真家は、作品全体を含むカタログを作成し、あるギャラリーでは肖像写真のみを表示し、別のギャラリーには風景写真のみを含めることができます。

公開、非公開、および閲覧専用の設定

ギャラリーはデフォルトでプライベート（非公開）に設定され、ギャラリーを作成したユーザーのみがアクセスおよび修正することができます。ギャラリーを作成するとき、パブリック（公開）に設定するとカタログの全ユーザーがアクセスできます。ギャラリーをパブリックに設定した場合、閲覧専用にすることで、他のユーザーが変更できないように制限をかけることもできます。

ギャラリーのアクセスレベルを変更する方法については、[ギャラリーを公開またはプライベートに設定](#) 27 ページのを参照してください。

スマートギャラリー


スマートギャラリーを開くと、Portfolio のカタログが自動的に検索され表示する適切なファイルが選択されます。スマートギャラリーを、そのカタログに保存済みのメタデータのファイルを検索して選択するように設定することができます。スマートギャラリーを作成して使用する場合、詳細は[スマートギャラリーの作成](#) 27 ページのを参照してください。


特殊ギャラリー


各 Portfolio カタログには **フラグアイテム** ギャラリーが含まれています。このギャラリーには現在のブラウザが開いた状態でフラグを付けたアイテムが表示されます。詳細については [フラグアイテムギャラリー](#) 28 ページのを参照してください。


最新登録アイテム ギャラリーは、最近ユーザーがカタログに追加したアイテムを表示します。


ギャラリーアイコンの参照


 プライベートギャラリー


 パブリックギャラリー


 パブリック、閲覧専用ギャラリー

 最新登録アイテムギャラリー

 プライベートスマートギャラリー


 パブリックスマートギャラリー

 パブリック、閲覧専用スマートギャラリー

 フラグアイテムギャラリー

ギャラリーの作成、リネーム、削除

カタログに新しいギャラリーを作成するには、次の手順を行います：


1. **オーガナイザ** パネルでカタログを選択します。
2. **オーガナイザ** パネル下の**追加** ボタン  をクリックして、**新規ギャラリー** を選択します。
3. フィールドにギャラリーの名前を入力します。
4. ギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - **パブリック** ギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。**閲覧専用** はギャラリーの閲覧は可能ですが、変更はできません。
 - **プライベート** ギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
5. **保存** ボタンをクリックします。

新しいギャラリーが **オーガナイザ** パネルに表示されます。

ギャラリーの名前を変更するには：

オーガナイザ パネルのギャラリー名をダブルクリックし、新しい名前を入力します。

ギャラリーを削除するには：

1. **オーガナイザ** パネルのギャラリーを選択します。
2. **オーガナイザ** パネル下の**削除** ボタン  をクリックします。
3. 確認ダイアログで **OK** ボタンをクリックします。




ギャラリーへのアイテムのアップロード

ユーザーがそのギャラリーに変更のための適切な権限とアクセスレベルをもっている場合、アイテムをそのギャラリーに追加できます。アクセスレベルの詳細については Portfolio の管理者にご確認ください。

注意： ギャラリーの所有者によってそのギャラリーが閲覧専用設定されている場合、所有者でないユーザーはそのギャラリーにアイテムを追加することはできません。

ギャラリーにアイテムを追加するには：


1. **オーガナイザ** パネルでカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネイルを選択します。
3. カatalogまたは別のギャラリーからアイテムのサムネイルを **オーガナイザ** パネルののギャラリーアイコンにドラッグします。

また、アイテムプロキシをギャラリーにドラッグしてアイテムを追加することもできます。メインウィンドウの全ページの全アイテムを追加するには**検出アイテム** プロキシ  を、現在のページの全アイテムを追加するには **表示アイテム** プロキシ  を、現在のページの選択アイテムを追加するには**選択アイテム** プロキシ  をドラッグします。

ギャラリーからのアイテムの削除

アイテムがギャラリーから削除される場合、現在のギャラリーから削除されるだけで、カタログからは削除されません。ある画像セットのギャラリーを作成し、他の画像とともに表示したくない画像が含まれていることに気が付いた場合、ギャラリー内の不要な画像を単純に削除します。

カタログから削除せずに、ギャラリーからアイテムを削除するには：

1. **オーガナイザ**パネルでギャラリーを選択します。（ギャラリー作成者でない場合、閲覧専用のチェックが入っていないことを確認してください。）
2. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを1つ以上選択します。
Shift キーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。
Ctrl (Win) または Command (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. メインウィンドウの左下の**削除** ボタン  をクリックします。
4. ギャラリーから削除したいがカタログには残したい場合、**ギャラリーから削除** をクリックしてギャラリーからアイテムを削除します。ギャラリーやカタログからアイテムを削除するには**ディスクから削除**を選択します。

注意

ディスクから削除 しない限り、スマートギャラリーからアイテムは削除できません。これはスマートギャラリーが検索結果を表示するためです。カタログでそのアイテムのメタデータが変更されているために、スマートギャラリーを開くたび結果が違うこともありえます。

ギャラリーの並べ替え

- ギャラリーのファイルを並べ替えするにはツールボックスのドロップダウンメニュー **並べ替え基準** から並べ替えに使用するフィールドを選択します。
デフォルトでは、ドロップダウンメニューで使用できるフィールドは次のフィールドの基本セットに限定されます。**ディレクトリパス**, **ファイルサイズ**, **ファイル名**, **作成日**, **変更日**, **カタログ登録日**
- ドロップダウンメニューからフィールドのリストを展開するには **並べ替え基準** メニューから**すべて表示**を選択します。
- 元のフィールドセットに復帰するには**並べ替え基準** メニューの**フィルタ済みのフィールドを表示する** を選択します。（リストの最後の項目）

並び替えの順序は「並べ替え基準」メニューの右の **昇順**  or **降順**  アイコンをクリックすることで変更できます。

表示されるデフォルトフィールドを変更するには、**プロパティ**の**フィルタフィールド** を調整します。詳細については**表示プロパティの選択** 29 ページの を参照してください。

ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定

多くの人が1つのカタログにアクセスする場合、ひとりのユーザーがアクセスするカタログにギャラリーを作成すると役立ちます。

Portfolioの「パブリック」および「プライベート」の設定機能を使用して、ギャラリーを保護して自分だけが見られるようにしたり、またはパブリックに選択しても閲覧専用を設定し、自分だけが変更するように設定できます。

ギャラリーのプライバシー設定を変更するには


1. **オーガナイザ** パネルで、ギャラリー名をダブルクリックします。
2. ギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - **パブリック** ギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。
 - **プライベート** ギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - **閲覧専用** オプションでは、他のユーザーが公開ギャラリーを変更することを制限します。ユーザー本人はギャラリーの内容を変更できます。
3. **保存** をクリックします。

スマートギャラリーの作成

スマートギャラリーではギャラリーに検索ツールの結果が表示されます。スマートギャラリーは iTunes のスマートプレイリストと同様に、同じパラメータを使用してカタログの検索を頻繁に行う場合に手軽に使用できます。

検索パラメータに適合した新しいアイテムがカタログに追加され、それらがスマートギャラリーに自動的に追加されます。

新しいスマートギャラリーを作成するには:

1. **オーガナイザ** パネルでカタログを選択します。
2. **オーガナイザ** パネルの左下にある **追加** ボタン  をクリックし、メニューから **新規スマートギャラリー** を選択します。 **検索ツール** が表示されます。
3. 検索パラメータを入力します。詳しくは、**検索ツールの使用** 20 ページのを参照してください。
4. **スマートギャラリー** として **保存** ボタン をクリックします。
5. テキストボックスにスマートギャラリーの名前を入力します。
6. スマートギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - **パブリック** スマートギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。
 - **プライベート** スマートギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - **閲覧専用** オプションでは、他のユーザーがパブリックのスマートギャラリーを変更することを制限します。
7. **保存** をクリックします。

新しいスマートギャラリーが **オーガナイザ** パネルに表示されます。

フラグアイテムギャラリー

フラグアイテムギャラリーは、フラグを付けたアイテムを表示する特別なギャラリーです。（ブラウザを閉じないで、Portfolio のログイン/ログアウトをするとフラグアイテムは維持されます）




アイテムにフラグを付けるには：

- グリッド表示でサムネールの右上にあるフラグアイコンをクリックします。
- リスト表示でフラグコラムのチェックボックスをクリックします。
- プレビューモードでフィルムストリップのサムネール上にあるフラグアイコンをクリックします。
- プレビューモードで画像上のフラグアイコンをクリックします。
- アイテムプロキシをフラグアイテムプロキシにドラッグします。

フラグアイテムギャラリーは通常のギャラリーと同じように使用することもできますが、ブラウザを終了すると、アイテムのフラグは解除されてしまいます。

フラグアイテムギャラリーはカタログごとおよびユーザーごとに異なります。複数のユーザーが同じカタログにログインしてフラグを付けたとしても、フラグ設定が他のユーザーに影響することはありません。

アイテムプロキシでのフラグ付け

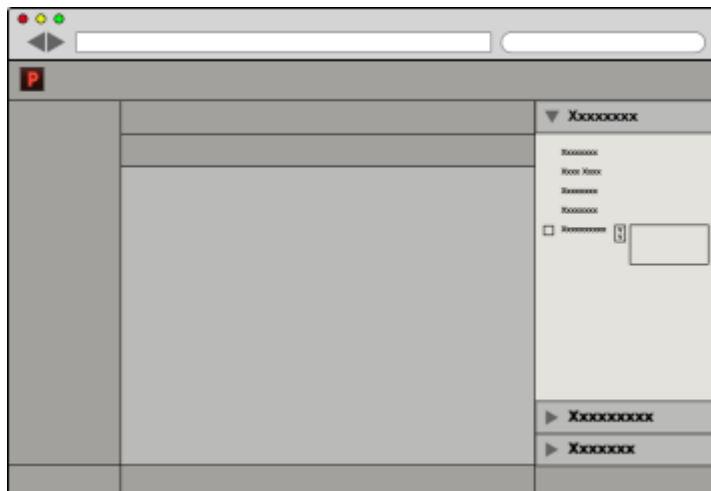
複数のアイテムに最も素早くフラグを付けるには、プロキシをフラグアイテムギャラリーにドラッグします。現在の表示の全フラグアイテムにフラグを付けるには検出アイテムプロキシ  を、現在のページの全アイテムにフラグを付けるには表示アイテムプロキシ  を、選択中の全アイテムにフラグを付けるには選択アイテムプロキシ  をドラッグします。

アイテムプロキシの詳細については [アイテムプロキシの使用](#) 13 ページの を参照してください。

アイテムのプロパティの表示

Portfolio は、カタログ化するすべてのファイルに関する非常に詳細な情報を保存します。この情報には、カタログ作成中に収集するデータとして、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像寸法、ファイルタイプなどが含まれます。また、Portfolio アイテムには、追加可能なメタデータ情報（たとえば説明やキーワード）や、カスタムフィールドを使用して追加できるその他のデータも含まれます。

これらの情報は、ウェブクライアントの右側にある**プロパティ** パネルで表示されます。



もし、**プロパティ** パネルが表示されていない場合、ウィンドウ右上に表示される **ⓘ** ボタンをクリックします。**プロパティ** パネルを隠すには、**ⓧ** ボタンをクリックします。

キーワードやメタデータフィールドなどのデータ入力は**プロパティ** パネルで行います。

表示プロパティの選択

アイテム**プロパティ** ペインは選択アイテムのすべての**プロパティ**を表示することが可能です。しかし、多くの場合、頻繁に使用する**プロパティ**と、ほとんど使用することのない**プロパティ**が存在します。

フィルタフィールドのリストを設定すると、何の**プロパティ**を、どのような順番で表示するかを定義することができます。

アイテムプロパティ ペインで、フィルタのリストを設定するには：

1. もし開いていない場合、アイテム**プロパティ** ペインを開きます。
右上にあるアイコンをクリックしてください。（ログアウトの下の辺りにあります）
2. アイテム**プロパティ** ペインの上にある フィルタフィールドを編集 をクリックします。
3. 左側にあるすべてのフィールド のフィールド名を、右側の表示フィールドにドラッグします。
フィルタフィールドから、フィールド名を削除するにはリストの外側にドラッグします。
フィールド名を上下に移動すると、 フィルタフィールド に表示される順番を変更できます。
4. **保存** ボタンを押して、 フィルタフィールドのリストを保存します。

アイテム**プロパティ** ペインの上にあるドロップダウンメニューから、すべてのフィールドまたはフィルタフィールドの表示を切り替えることができます。

注意

アイテム**プロパティ** で表示されるフィールド以外に、グリッド表示、リスト表示で表示されるフィールドを選択することもできます。

フィールドタイプの理解

Portfolio カタログ内のデータは複数のフィールドに記録されます。フィールドは保存できるデータ型によって複数のタイプに分けられます。Portfolio ウェブクライアントでは、アイテムのプロパティを追加したり編集したりするためにフィールドタイプをよく理解しておく必要があります。

日付/時刻

日付/時刻フィールドタイプでは、アイテムの日付か時刻、またはその両方を入力できます。カタログの管理者は時刻の値を表示しないように選択できます。日付/時刻フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

注意

日付/時刻フィールドを検索する場合は、かならず時刻の存在が仮定されます。つまり、もし（アイテムをカタログ化する際のソースファイルからの抽出により、またはフィールドに時刻を入力することにより）時刻の値がフィールドに入力されて、またカタログの管理者によってそのフィールドが隠されていても、検索が行われる場合には Portfolio は時刻を検索に含めます。例：「5/20/09」で検索しても「5/20/09 3:00 pm」を含むアイテムは見つかりません。なぜなら、検索の要求は「5/20/09 12:00:00」と解釈されるからです。

小数

小数フィールドタイプでは、最大で小数点以下第 8 位までの精度を持つ数値を入力できます。小数フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

数値

通常の数値については、数値フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

テキスト


「テキスト」フィールドタイプは 1 行のテキストのためにデザインされています。「テキスト」フィールドの長さは 1 から 249 文字までで、複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。このタイプのフィールドは複数行のテキストを含むことはできないため、その場合はテキストブロックを使用します。

テキストブロック

「テキストブロック」は 32,767 字以内の任意の長さの複数行にわたるフィールドです。このフィールドタイプを使えば、アイテムに複数行のテキストを追加できます。改行やキャリッジリターンを含めることもできます。「テキストブロック」内の単語はインデックス化されるので、これらの長いフィールドでも極めて速く検索することができます。「テキストブロック」フィールドは並べ替えやフレーズでの検索はできません。説明フィールドは「テキストブロック」フィールドの例です。例えば **説明** フィールドはテキストブロックフィールドです。

アイテムのプロパティの編集

Portfolio ウェブクライアントではカタログ内のアイテムのメタデータとプロパティを編集できます。

フィールド値を編集すると、Portfolio のカタログレコードが更新されます。また、埋め込みメタデータをサポートするファイルタイプでは、プロパティの変更はオリジナルファイルに埋め込まれます。組み込み可能なアイコンによって、メタデータの埋め込みをサポートするフィールドには埋め込み可能を示すアイコン  が指定されています。

Portfolio Server は XMP メタデータを含む様々な画像や動画ファイル形式のメタデータをサポートしています。詳細についてはファイル形式サポートリスト (<http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/>) を参照してください。

注意: Portfolio Server は XMP サイドカーファイルの読み込みまたは書き出しはできません。

1つのアイテムのプロパティを編集するには

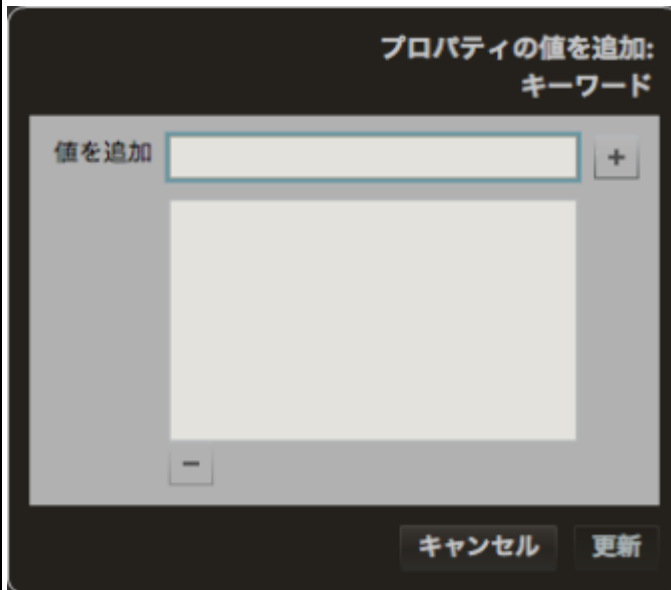
1. メインウィンドウでアイテムを1つ選択します。
2. プロパティパネルで更新したい情報を見つけます。
フィールドはカテゴリごとにグループ化されています。カテゴリ内のプロパティを表示するにはカテゴリ名の左側にある三角形をクリックします。
3. フィールドの値を変更します。変更方法はフィールドのタイプにより異なります。
単一値フィールド（Photoshop ラベルなど）：新しいテキストを入力して **ENTER** を押します。
テキストブロック（説明など）：テキストを編集し、フィールドの下にある**送信** ボタンを押します。
複数値フィールド（キーワードなど）：フィールド下の **[+]** ボタンを押して、**プロパティの値を追加** ダイアログを開きます。詳細については下記**プロパティの値を追加** ダイアログを参照してください。

複数アイテムのプロパティを編集するには

1. メインウィンドウでアイテムを複数選択します。
2. プロパティパネルで更新したい情報を見つけます。
3. フィールドの値を変更します。変更方法はフィールドのタイプにより異なります。
単一値フィールド（Photoshop ラベルなど）：新しいテキストをフィールドに入力します。
テキストブロック（説明など）：テキストを編集し、フィールド下の **追加** または **置換** ボタンを押します。
複数値フィールド（キーワードなど）：**値を追加** リンクボタンをクリックして**プロパティの値を追加** ダイアログを開きます。下記注意を参照してください。
フィールドを編集すると、情報が送信されていないことを表すチェックボックスが表示されます。
4. 別のフィールドの変更が必要であれば上記と同様の方法で変更します。
5. 変更処理が完了したら、**プロパティパネル**の下にある**送信**ボタンをクリックします。

プロパティの値を追加ダイアログ

キーワードなど複数値フィールドを編集する場合、**プロパティの値を追加**ダイアログを使用します。このダイアログは複数アイテムを入力または選択してアイテムに一括で追加できます。フィールドに定義された値（マスターキーワードリスト）が存在する場合、ドロップダウンメニューから値を選択します。それ以外の場合、フィールドに直接入力します。



更新状況の確認

複数アイテムを一括編集する時、変更は Portfolio Server に「ジョブ」として送信されます。ジョブの状況を確認するには、メインツールバーの **ジョブを表示** をクリックします。

この他、メインウィンドウ下のナビゲーションバーにも更新状況が表示されます。

キーワードとカスタムフィールド

キーワード

キーワードは、カタログ化されたファイルに割り当てることができる説明の単語またはフレーズで、ファイルをカテゴリに分類したりするものです。

たとえば、日没時の熱帯地方の海岸の画像があったとすると、*砂浜、海岸、海、日没、熱帯、休暇、レクリエーション、アウトドア*などのキーワードをその画像に割り当てることができます。これらの単語は、画像を他の関連する画像とグループ化したり、ファイルを検索したりするのを容易にします。

Portfolio では、アイテムに割り当てることができるキーワードの数に制限はありません。

カタログ管理者はキーワードを統括して管理できるマスターキーワードリストを作成することができます。クライアントもこれにより何度もキーワードを入力する手間が省けます。

使用例

キーワードはファイルの内容を表すのに適しています。（画像、感情、または動きのある写真の説明、Word 文書で説明されるトピックなど）

カスタムフィールド

カスタムフィールドを使用すれば、カタログ化するアイテムに使用する任意の種類の情報（日付、数字、テキストブロック、または URL）を保存することができ、ファイルの整理、カテゴリ化、および検索をより柔軟に行うことができます。カスタムフィールドは、厳密には「キーワード」や「説明」ではない情報によってファイルを整理する場合、完璧に整理します。たとえば、カタログ化されたファイルに関連するウェブサイトの URL のフィールドを追加したり、デジタル写真のカタログに「写真家」のフィールドを追加したり、価格情報や品番を保存するフィールドを追加したりする場合があります。

カスタムフィールドには 6 つのタイプがあり、すべてのタイプが Portfolio ウェブクライアントの **プロパティ** で編集できます。

- **日付/時刻**: 日付または日付/時刻を入力します。たとえば、このフィールドタイプは、画像の発行日用のカスタムフィールドを作成するために使用できます。
- **小数**: 小数を含む数値を入力します。このフィールドタイプは、ストックされた画像価格のカスタムフィールドに役に立ちます。
- **数値**: 普通の数値を入力します。このフィールドタイプはカタログのパーツ番号や、品番に最適です。ただし、それらの番号は数字のみに限ります。
- **テキスト**: 1 行のテキストを入力します。写真家やアーティストの名前など、多くのカスタムフィールドに使用できます。
- **テキストブロック**: 改行を含む、複数行のテキストを入力します。
- **URL**: このフィールドタイプは、ウェブや他の URL アドレスに使用します。ギャラリー表示で表示できるアクティブハイパーリンクを作成できます。

カスタムフィールドは「キーワード」あるいは「説明」に該当しない項目を管理するために適しています。例えば、カタログに関連した特定のウェブサイトの URL フィールド、デジタル写真カタログの写真家フィールド、あるいは価格や型番情報などのフィールドを追加できます。

カスタムフィールドの詳細については [アイテムのプロパティの編集](#) を参照してください。

カスタムフィールドは Portfolio デスクトップクライアントを使用してカタログ管理者がカタログに追加できます。

カスタムフィールドは、設定するのにいくつかの行程がありますが、キーワードより検索速度が向上します。カスタムフィールドをインデックス化して Portfolio カタログから素早く情報を取り出すことができます。

使用例

キーワードは、画像解像度、ページ数などファイルのプロパティを表すのに適しています。ワークフロー内のファイルまたは文書をトラッキングするために使用するのも便利です。

キーワードの追加

キーワードは、ファイル内に埋め込まれたメタデータからの所得、Portfolio デスクトップクライアント でオートシンクフォルダを設定する際の**カタログ作成オプション**、または Portfolio ウェブクライアントで**プロパティ** パネルで手動でキーワードを入力した際などに設定されます。

キーワードをアイテムに追加するには**プロパティの値を追加** ダイアログを使用します。このダイアログは複数の値を一括で入力できます。もし、カタログにマスターキーワードが設定されている場合、ドロップダウンメニューから選択できます。それ以外の場合は手動でフィールドに入力します。



キーワード追加の方法は、単一アイテムを選択したか複数アイテムを選択したかによって異なります。

キーワードを1つのアイテムに追加するには:

1. メインウィンドウで1つのアイテムを選択します。
2. プロパティパネルで **キーワード** フィールドを特定します。追加 ボタン[+] をクリックします。
プロパティの値 ダイアログが開きます。
3. 値を追加 フィールドに新しいキーワードを入力またはドロップダウンメニューから選択します。
4. [+] ボタンをクリックして、 ボタンをクリックして、キーワードをリストに追加します。
5. 続けてキーワードを選択します。
もし、間違えてリストに追加してしまった場合、リストの下にある[-] ボタンをクリックします。
6. 値を入力したら **更新** ボタンをクリックします。

キーワードを複数のアイテムに追加するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティ パネルの**キーワード**にて**値を追加** リンクをクリックします。
プロパティの値を追加ダイアログを開きます。
3. キーワードを入力するか、ドロップダウンメニューから選択します。
4. [+] ボタンをクリックして、キーワードをリストに追加します。
5. 続けてキーワードを選択します。
もし、間違えてリストに追加してしまった場合、リストの下にある[-] ボタンをクリックします。
6. 値を入力したら**更新** ボタンをクリックします。
7. プロパティパネルで**送信** をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの削除

1つのアイテムからキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで1つアイテムを選択します。
2. プロパティパネルで **キーワード**フィールドを特定します。
3. リストからキーワードを選択してフィールドの下の[-]をクリックします。

複数のアイテムからキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティパネルで**キーワード**フィールドを特定します。
3. **キーワード**フィールドの下の**値を削除**リンクをクリックします。
プロパティの値を削除 ダイアログが開きます。
4. 削除したいキーワードを入力します。
もし、管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
5. [+] ボタンをクリックして削除するリストに追加します。
6. 削除するキーワードが他にあれば上記操作を繰り返します。
もし、間違えて追加してしまった場合、リストから[-] ボタンを押します。
7. 値を入力したら**更新** ボタンをクリックします。
8. プロパティ パネルで**送信** ボタンをクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

複数のアイテムからすべてのキーワードを削除するには:

1. メインウィンドウで複数アイテムを選択します。
2. プロパティパネルの**キーワード**フィールドの下にある**値を削除**をクリックします。
3. **すべての値を削除** ボタンをクリックします。
4. プロパティパネルで**送信** をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示**リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの置換

キーワードを変更したい場合、Portfolio ウェブクライアントでは複数のアイテムを対象にそのキーワードを検索して新しいものと置き換えることができます。

たとえば、セダンやステーションワゴンなどを指定するのに一貫して自動車というキーワードを使用している場合、**値を置換**コマンドを使用して間違えて使用しているキーワードを置き換えることができます。

値を置換 は複数アイテムを更新する時に使用できます。

キーワードを置換するには:

1. メインウィンドウでアイテムを選択します。
2. **プロパティのキーワード** フィールドの下の**値を置換** リンクをクリックします。
プロパティの値を置換 ダイアログが開きます。
3. **次の対象** テキストボックスに置き換えるキーワードを入力します。
管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
4. **次に置換** テキストボックスに新しいキーワードを入力します。
5. **更新** ボタンをクリックします。
6. **プロパティ** パネルの**送信** をクリックします。

ツールバーで**ジョブを表示** リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

ファイルの管理

Portfolio ウェブクライアントすると、ディスク上の特定のフォルダからファイルを別のフォルダに移動、ダウンロード、ファイル形式の変換などが可能です。




注意

この機能を利用するには一定のアクセスレベルが必要です。アクセスレベルは、Portfolio 管理者にお問い合わせください。

新しいサブフォルダの作成

Portfolio Server によって管理されているフォルダ内のファイルを整理するために、Portfolio ウェブクライアントで新しいサブフォルダを作成できます。これは、Windows のエクスプローラや Macintosh の Finder で新しいフォルダを作成するのと同じ要領で行います。

新しいサブフォルダを作成するには

1. オーガナイザ パネルで、一番上の階層のフォルダ  またはサブフォルダ  を選択します。
2. オーガナイザ パネル左下にある、追加 ボタン  をクリックし、新規サブフォルダを選択します。
3. フォルダ名を入力し、保存をクリックします。

オーガナイザパネル内のサブフォルダを移動するには、最上位フォルダが同じフォルダ内の別の場所にドラッグします。

注意: 最上位フォルダ（監視フォルダ）を追加するには Portfolio デスクトップクライアントを使用します。


ファイルの移動と削除

Portfolio ウェブクライアントからすべてのオリジナルファイルを移動および削除できます。

ファイルを移動するには：

1. オーガナイザ パネルでカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。
3. ファイルを新しいフォルダにドラッグします。移動先のフォルダは現在の場所と同じカタログ内にある必要があります。

ファイルを削除するには：

1. オーガナイザパネルでフォルダを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。
Shift キーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。
Ctrl (Win) または Command (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. メインウィンドウの左下の削除ボタン  をクリックします。
4. ディスクからオリジナルファイルを削除するにはディスクから削除をクリックします。または、カタログから削除をクリックして、カタログからファイルを削除します。

カスタムプレビューの適用および削除

アイテムのプレビュー画像は変更することができます。例えば、PDF 文書のサムネールおよびプレビューは、最初のページが使用されますが、別の画像を利用することもできます。

別の画像をプレビューとして適用するには、カタログのアイテムを選択し、右クリックしてコンテキストメニューから **カスタムプレビューを適用** を選択します。次にサポートされる画像ファイルを選びます。

オリジナルのサムネールに戻すには、アイテムを選択し、右クリックしてコンテキストメニューからサムネールの再作成を選択します。

自動化とウェブクライアント

Portfolio ウェブクライアントにはワークフローをスピードアップするのに役立つ自動化機能が数多くあります：

- 自動的にファイルを見つけるには **スマートギャラリーの作成** を参照してください。
- ファイルをダウンロードする際の変換プリセットについては **ファイルのダウンロード** を参照してください。
- オリジナルを編集するプリセットについては **バッチ処理** を参照してください。
- 変換プリセットの作成および使用方法については **変換プリセット** を参照してください。

自動化コマンド

NetMediaMAX が組み込まれた Portfolio Server は高度な自動化スクリプトにアクセスできます。Portfolio Server 管理者はスクリプトを Portfolio ウェブクライアントで使用できるように設定できます。スクリプトで実行できることは様々あります。利用可能なスクリプトの詳細については Portfolio Server 管理者にお問い合わせください。

Portfolio ウェブクライアントでスクリプトを実行するには：

1. カタログ内のファイルを選択します。
2. ツールバーのドロップダウンメニューから **自動化** をクリックします。
3. リストからスクリプトを選択します。

スクリプトを実行すると、メインウィンドウの下に **ナビゲーション** ツールバーに処理状況が表示されます。スクリプトの処理結果の状況を確認するには **ジョブの表示** ダイアログをご確認ください。

オリジナルのダウンロードと編集

Portfolio ウェブクライアントではファイルを別の形式に変換できるほか、カタログのファイルをダウンロードするために収集できます。Portfolio Server ではすべてのメディアの処理と ZIP ファイルの作成を行います。

ダウンロード メニューからは、オリジナルファイルのダウンロード、変換プリセットを実行してダウンロード、変換プリセットの作成などができます。

バッチ処理 コマンドからは、変換プリセットの作成、実行、変更、ファイルのリネーム、変換されたファイルのダウンロードとカタログ化などができます。

注意

アクセスレベルによってはオリジナルをダウンロードまたはバッチ処理を実行することができません。アクセスレベルの詳細については Portfolio 管理者にご確認ください。

ファイルのダウンロード

ダウンロード メニューからは、オリジナルファイルのダウンロード、変換プリセットを実行してダウンロード、変換プリセットの作成などができます。

変換プリセットが利用可能な場合、**ダウンロード** メニューの **オリジナルのダウンロード** に表示されます。

変換プリセットを実行するには、オーガナイザでアイテムを選択し、**ダウンロード** メニューでプリセットを選択します。

オリジナルファイルをダウンロードするには、オーガナイザでアイテムを選択し、**ダウンロード** メニューから **オリジナルをダウンロード** を選択します。

ダウンロードの準備が整うと今すぐに、または後でダウンロードするか選択できます

- 複数ファイルをダウンロードまたは変換することを選択すると、.ZIP アーカイブとして圧縮します。
- もし、単独のファイルを選択した場合、Portfolio は圧縮しないでダウンロードをします。

今すぐにダウンロードする場合、**OK** ボタンを押して、保存する場所と名前を指定します。

キャンセル ボタンを押すと、ファイルまたは .ZIP アーカイブは後でダウンロードできます。

変換プリセット

変換プリセットは、ファイル形式、解像度の設定で、頻繁に使用するものをセットとして保存することを可能にします。例えば、Web ページに掲載するために 320x240 ピクセルの JPG ファイルを作成する作業を頻繁に行っているとしたら。この場合、値をプリセットに保存することで、ファイルの変換とダウンロードを 1 クリックで実現できます。

変換プリセットは、ファイルを 1 クリックでダウンロードあるいは、リネームやカタログに追加することが可能なバッチ処理を実行する際に使用できます。

プリセットを作成するには 2 つの方法があります: **ダウンロード** メニューから **変換プリセットの編集** を選択するか、メインツールバーの **バッチ処理** をクリックします。

注意: **バッチ処理** ダイアログでは、すべてのプリセットオプションは **変換** セクション内にあります。

新規プリセットを作成するには:

1. 変換設定の変更（下記参照）
2. プリセットドロップダウンメニューの横にある **[+]** ボタンをクリックします。
3. プリセットの名前を入力し**保存**ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして**変換プリセット** ダイアログを閉じるか、**キャンセル** をクリックして**パッチ処理** ダイアログを閉じます。





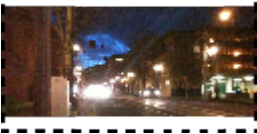




新しいプリセットは**ダウンロード** メニューおよび**パッチ処理** ダイアログで利用できるようになります。

変換設定

- **フォーマット** ドロップダウンメニューから変換するファイル形式を選択します。
フォーマットを変更すると、選択できるオプションも変更されます。例えば、TIFF 形式の場合、圧縮方式、バイト順が選択できます。JPEG の場合、画質パラメータのみが変更できます。
NetMediaMAX Solution Pack にはいくつかの追加変換フォーマットが利用できます。
- 変換ファイルのカラーモードに RGB, CMYK, または グレースケールを選択します。
- **解像度を変更**にチェックを入れると、変換ファイルの解像度を設定できます。
- **サイズを変更**にチェックを入れると変換ファイルのサイズを変更できます。
 - %:** %値は、オリジナル画像を基にしたサイズです。100% はオリジナルサイズです。出力ファイルは寸法および縦横比はオリジナルと同じです。
 - 最大寸法:** 変換ファイルの縦横サイズを変更して、フィットさせます。オリジナルファイルの縦横比が出力の縦横比より小さい場合、変換ファイルは、短い側に合わせてサイズを変更してから、長い側のサイズに合わせます。出力結果は、オリジナルの縦横比を維持するため、指定値と同じか小さくなります。画像の一部が失われることはありません。
 - 拡大/切り取り:** 変換ファイルの縦横サイズを入力してリサイズします。出力ファイルは指定したサイズと同じになります。もし、オリジナルの縦横比が異なり大きい場合、幅は維持されますが、上下がカットされます。もし、オリジナルの縦横比が異なり大きい場合、高さは維持されますが、左右がカットされます。

サイズ変更の例

異なる3つの画像が**最大寸法** および **拡大/切り取り**オプションを使用してどのようにリサイズされるかを表します。すべての画像は 1280x720 サイズに変更されます。

オリジナル	最大寸法 1280x720	拡大/切り取り 1280x720
 chase.png 320x240	 1080x720	 1280x720
 citywide.jpg 1920x817	 1280x545	 1280x720
 white-kitten.jpg 1307x1961	 480x720	 1280x720

プリセットの変更と削除

プリセットを変更するには:

1. ダウンロードメニューから **変換プリセットの編集** を選択するか、**バッチ処理**をクリックします。
2. プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択します。
3. 設定を変更します。
4. **更新ボタン**をクリックします。
5. **OK (プリセットの編集)**または **キャンセル (バッチ処理)** をクリックしてダイアログを閉じます。

プリセットを削除するには:

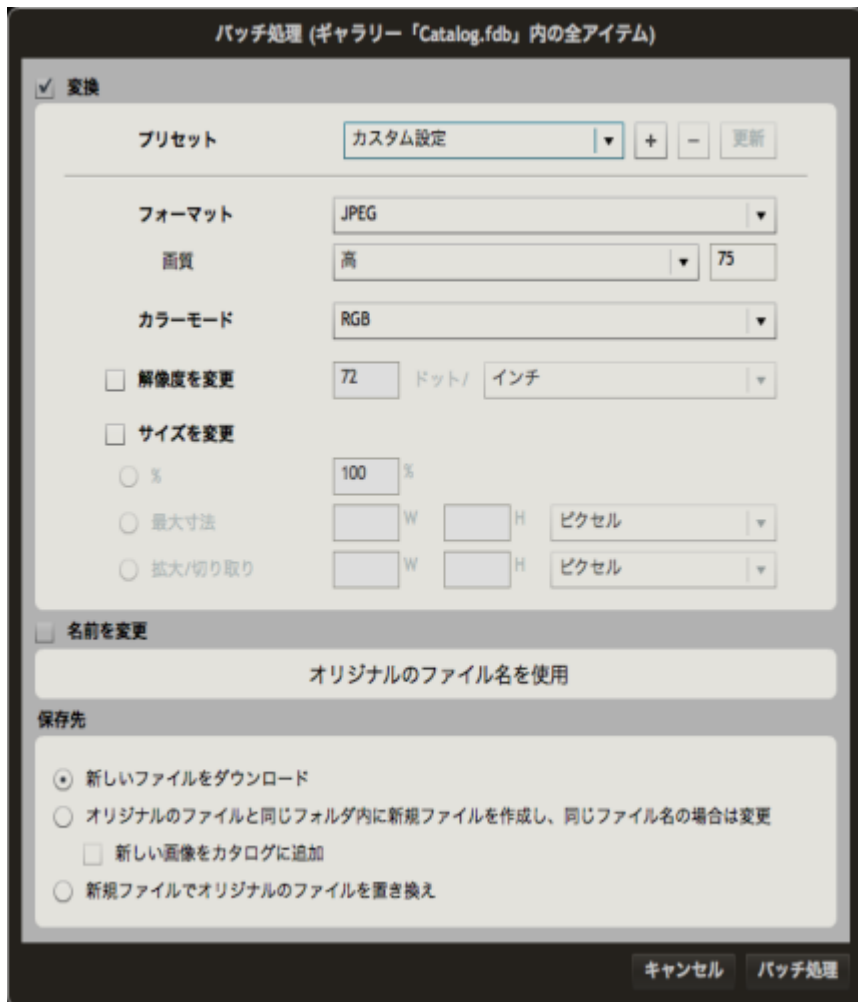
1. **ダウンロード**メニューから**変換プリセットの編集** を選択するか、**バッチ処理**をクリックします。
2. プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択します。
3. **[-]**ボタンをクリックします。
4. **OK (プリセットの編集)**または**キャンセル (バッチ処理)** をクリックしてダイアログを閉じます。

バッチ処理

バッチ処理コマンドは複数ファイルの変換を実行し、変換結果をダウンロードまたはカタログに登録、あるいはオリジナルの置換ができます。

複数のファイルを処理するには、**オーガナイザ** パネルのギャラリー、フォルダ、または選択アイテムを選択し、メインツールバーの**バッチ処理** を実行します。 **バッチ処理** ダイアログが表示されます。

注意: バッチ処理は常に選択対象に対して実行されます。ダイアログには選択対象のアイテムが表示されます。



バッチ処理 ダイアログ **変換**、**名前を変更**、**保存先** の3つの主要部分に分かれています。

変換 および **名前を変更** セクションはオプションであり、修正したい場合にのみ指定します。一方 **保存先** セクションは指定しないとバッチ処理を実行できません。

バッチ処理コマンドで指定した後 **バッチ処理** ボタンをクリックして編集を続行します。進行状況はメインウィンドウの下部のナビゲーションツールバーに表示されます。進行状況についての詳細は、ツールバーの**ジョブ**を表示ボタンをクリックしてください。

変換設定

オリジナルから別の形式にファイルを変換するには **変換** と記載されたボックスにチェックを入れ、変換設定を選択します。

変換プリセットをドロップダウンメニューの**プリセット** から選択するか、カスタム設定を適用します。

設定の変更および 独自プリセットの作成については **変換プリセット** 38 ページの を参照してください。

名前の変更オプション

名前の変更で、新しい名前を入力します。

ファイル名は、前、中、後の3つのセクションに分けられます。ドロップダウンメニューから各オプションを選択します。ここで選択できるオプションはなし、ファイル名、テキスト、および連番です。

- なし - 名前は新しい名前を追加するのに使用しません。
- ファイル名 - オリジナルのファイル名を、新しい名前に含める場合に使用します。
- テキスト - 新しいテキスト（最大 31 文字）を追加するために使用します。
- 連番 - ファイル名に数字を追加するために使用します。
特定のケタ数にしたい場合は、0 を先頭に入れて入力します。

例：[なし]、[テキスト: Portfolio-]、[連番: 001] に設定するとファイル名は Portfolio-001.jpg, Portfolio-002.jpg, と変更されていきます。

変換先オプション

変換先は、ファイルが変換および名前の変更などがされた後、保存される場所です。

- 新しいファイルをダウンロード: ファイルはご使用のコンピュータにダウンロードされます。（または後でダウンロードします）
- オリジナルのファイルと同じフォルダ内に新規ファイルを作成し、同じファイル名の場合は変更: 変換および名前の変更されたファイルはオリジナルと同じ場所に保存されます。もし、既存ファイルの名前と同じになる場合、自動的に修正されます。
新しいアイテムをカタログに登録し、オリジナルも残したい場合 新しい画像をカタログに追加 にチェックを入れます。新しいアイテムをカタログに登録する場合は
- 新規ファイルでオリジナルのファイルを置き換え: オリジナルファイルはディスクから削除され、新しいファイルが同じ場所に保存されます。カタログファイルも新しいファイルに関連付けされます。

PDFコンタクトシート



Portfolio コンタクトシートは、複数の画像をまとめて表示することができます。Portfolio コンタクトシートはページ内に表示する画像の数やヘッダー/フッターの情報、フィールドを選択できます。

コンタクトシートを作成するには、**オーガナイザ** パネル、またはメインウィンドウからアイテムを選択し、**PDF 作成** メニューでプリセットを選びます。

Portfolio Server は PDF を生成し、すぐにダウンロードするか、後で**ジョブ** パネルからダウンロードすることができます。

印刷フィールド

コンタクトシートに含まれるフィールドは、現在の表示されているフィールドと同じです。

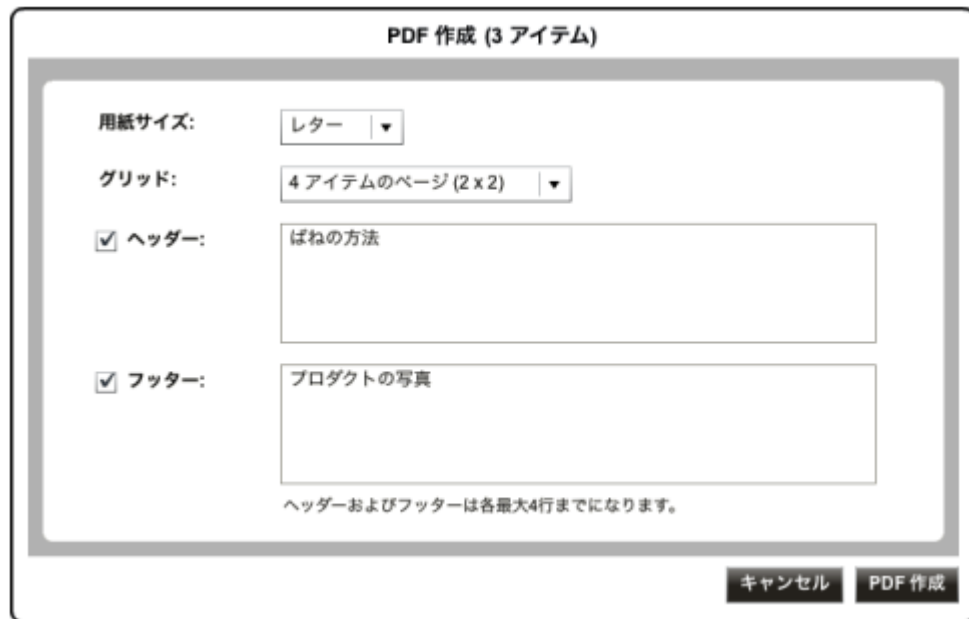
もし、 **グリッド表示**でコンタクトシートを作成した場合、グリッド表示で使用するフィールドがコンタクトシートに含まれます。 **リスト表示**に切り替えた場合、リスト表示で使用するフィールドがコンタクトシートに含まれます。

現在の表示を変更するには**クイック検索** ツールの下 **フィールドを表示**をクリックします。詳細については **フィールド選択** 13 ページのを参照してください。

注意: コンタクトシートに画像と関連付けて表示できるテキストのスペースは限られています。このため、現在の表示と同じ内容がすべて表示されない場合があります。

コンタクトシートの設定

PDF プリセットの設定を変更するには、**PDF 作成** メニューから **PDF のカスタマイズ**を選択します。これで PDF 作成ダイアログが表示されます。



PDF 作成 (3 アイテム)

用紙サイズ: レター

グリッド: 4 アイテムのページ (2 x 2)

ヘッダー: ばねの方法

フッター: プロダクトの写真

ヘッダーおよびフッターは各最大4行までになります。

キャンセル PDF 作成

必要に応じて **用紙サイズ**, **グリッド** (ページのアイテム数), **ヘッダー**, および **フッター** オプションを変更して、PDF を作成します。

ページのアイテム数以外の設定は、次回から各 PDF プリセットで使用されます。変更するには再度 **PDF のカスタマイズ**を使用します。

ジョブ

ジョブダイアログでは ZIP ファイルの作成、ファイル変換、実行したスクリプトの状態などすべてのサーバーのタスクの進行状況が表示されます。アップロード、ダウンロード、バッチ処理、および自動化 コマンドの結果もすべて、ジョブを表示ダイアログに表示されます。

メインツールバーのジョブを表示 をクリックすると、ジョブ ダイアログが表示されます。(ジョブを表示 をクリックすると、ジョブダイアログに最近実行したコマンドのリストが表示されます。

サーバーがコマンドを処理すると、新しい項目がジョブ ダイアログに追加されます。この項目にはタイムスタンプやジョブの状況が含まれています。

ジョブの処理が完了した場合、ダウンロードボタンをクリックして処理されたファイルをダウンロードすることも可能です。

処理されたジョブは消去しなければ、ジョブ ダイアログに 24 時間保管されます。

注意

もし、ジョブの中で処理ができないアイテムがあった場合、ジョブ ダイアログは「# / # アイテムは処理できませんでした。」問題の詳細については項目をクリックしてください。また、この情報を Portfolio Server 管理者にご連絡ください。

用語集

-ア-

アイテム

カタログに登録されたファイルは、カタログ内のアイテムと呼ばれます。各アイテムにはディスク上のファイル情報が含まれています。

アクセスレベル

アクセスレベルによって、ユーザーがカタログ内の特定のアイテムに対して実行できる機能が変わります。アクセスレベルはユーザー単位、またはグループ単位で設定できます。ギャラリーのアクセスレベルは、他のユーザーからギャラリーの中を見えないようにすることができます。

-オ-

オートシンク

オートシンクフォルダに置かれたファイルはPortfolio Server にアップロードすることができます。ファイルがこのフォルダに入られると、Portfolio が自動的にファイルを取り込み、メタデータの抽出、サムネイルとプレビューファイルの作成を行います。

-カ-

カタログ

Portfolio では、画像やグラフィックデータ、写真データや他のメディアファイルをカタログと呼ばれるファイルに登録して管理します。カタログにはファイルのサムネイル画像と、メタデータ、必要なカスタム情報が含まれますが、オリジナル画像そのものは含まれません。

-キ-

キーワード

キーワードは、カタログに登録されたアイテムを分類するために割り付けることのできる用語です。

-ギ-

ギャラリー

ギャラリーはカタログ内のファイルのサブセットです。

-サ-

サムネイル

サムネイルは、カタログ内でアイテムとして表示される小さな画像を指します。

-バ-

バッチ変換

バッチ変換は、カタログ上の複数のアイテムを同時に変更することができます。Portfolio のバッチ変換機能では、ファイル形式、解像度、カラーモード、サイズの変更が可能です。

-フ-

フィールド

フィールドは、Portfolio カタログ内の情報が入る場所です。各 Portfolio カタログは自動的に主なフィールドを持っていますが、ファイルを識別するのに必要となる様々な情報を入れておくためのカスタムフィールドを作成することもできます。

-プ-

プロパティ

Portfolio 内の各アイテムは、説明やキーワード、カスタムフィールド情報など多くのプロパティ情報を持っています。すべてのアイテムはプロパティを持っています。

-マ-

マスターキーワード

マスターキーワードは、カタログ管理者によって作成できるキーワードです。マスターキーワードを使うことで、カタログ内のキーワードを統一することができます。

-メ-

メタデータ

メタデータはオリジナルファイル内に埋め込まれている情報です。Portfolio ではこれらの情報の抽出や、オリジナルファイルへの埋め込みが可能です。

-仮-

仮レコード

仮レコードは、Portfolio カタログは後日追加されることになるアイテムのための仮登録です。

-表-

表示プレビュー

表示プレビューは Portfolio にファイルが登録される際に自動的に作成する低解像度のファイルです。ファイルサイズが小さいのでオリジナル画像を開くより高速に表示することができます。

Extensisの連絡

Extensis

1800 SW First Avenue, Suite 500
Portland, OR 97201
電話（無料）：(800) 796-9798
電話：(503) 274-2020
Fax：(503) 274-0530
Web: <http://www.extensis.com>

Extensis ヨーロッパ

Suite 18, Newton House
Kings Park Road, Moulton Park
Northampton NN3 6LG, United Kingdom
電話: +44 (0)1604 654 270
Fax: +44 (0)1604 654 268
Email: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

Web:
<http://www.extensis.com/customerservice/>
パッケージ内の案内をご覧ください。

もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定（オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど）
- ご質問、または問題の説明（何がどういふときに起こったのかを具体的に）
- 電話番号（担当者からお客様への電話を希望される場合）

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。

よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスから Extensis の Web サイトをご利用ください。<http://www.extensis.com/>

電話によるサポート

北米では、(503) 274-7030 にご連絡ください。

ヨーロッパでは、+44 (0) 1604-654-270 にご連絡ください。

日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。

索引

P

PDF, 43

PDF 作成, 43

Portfolio ウェブクライアント
のインストール, 8

Z

ZIP, 38

あ

アーカイブ, 38

アイテムのアップロード, 16

アイテムのプレビュー, 15

アイテムのプロパティ, 29, 30

アイテムのプロパティの編集,
30

アイテムの削除, 16

アイテムの追加, 25

アイテムプロキシ, 28

アクセスレベル, 18

う

ウェブクライアントのインター
フェイス, 10

お

オリジナル

削除, 16

オリジナルファイルの変換, 41

オリジナルを編集, 41

か

カスタムフィールド, 32

カタログ, 43

アイテムのアップロード,
16

カタログへのアイテムの追加,
16

き

キーワード, 32

削除, 34

置換, 35

追加, 33

ギャラリー, 24, 28

アイコン参照, 24

アイテムの削除, 16, 26

アイテムの追加, 25

スマート, 24, 27

パブリックに設定, 27

プライベートに設定, 27

プライベートを作成, 24

リネーム, 25

公開を作成, 24

作成, 25

削除, 25

新規, 25

並べ替え, 26

ギャラリーへアイテムを追加,
25

く

クイック検索, 19

結果のクリア, 23

クエリー, 19

クイック検索, 19

検索ツール, 20

こ

コンタクトシート, 43

さ

サブフォルダ, 36

し

システム要件, 8

ジョブダイアログ, 44

ジョブの表示

スクリプト出力, 37

ジョブを表示, 44

オリジナル出力の編集, 41

す

スクリプト, 37

スクリプト実行, 37

スマートギャラリー, 27

た

ダウンロード, 38

ジョブを表示, 44

は

はじめに, 8

バッチ処理, 41

ふ

ファイルのカタログ化, 16

ファイルのコピー, 36

ファイルの移動, 36

ファイルの削除, 36

ファイルの追加, 16

ファイル変換, 38

フィールドタイプ, 30

フォルダ

新規作成, 36

フラグ, 28

フラグ付きのアイテムギャラリー,
28

プロキシ, 28

プロパティ, 29

め

メインウィンドウ, 12

アイテムのプレビュー, 15

メタデータ, 29

ゆ

ユーザーインターフェイス, 10

り

リネーム, 38

漢字

閲覧者, 18

閲覧専用, 27

管理者, 18

検索, 19

クイック検索, 19

検索ツール, 20

検索ツール条件, 21

検索ツール, 20

スマートギャラリー, 27

結果のクリア, 23

検索条件, 21

検索結果のクリア, 23

削除

キーワード, 34

ギャラリーからアイテムを
削除, 26

ファイル, 16

書き出し, 43

置換

キーワード, 35

追加

キーワード, 33

発行者, 18

表示オプション, 12

並べ替え, 26

編集者, 18

名前, 38

要件, 8